デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

MINATO

2027年３月期 第２四半期
決算説明資料

ミナトホールディングス株式会社

2026年11月12日

東証スタンダード市場
証券コード　6862



ミナトホールディングスは
2026年12月17日に設立70周年
を迎えます

CONTENTS

1．2027年３月期 第２四半期 決算ハイライト・・・・・・ 3

2．2027年３月期 第２四半期連結業績・・・・・・・・・・ 6

3．セグメント別 第２四半期業績・・・・・・・・・・・・ 12

4．2027年３月期 通期連結業績予想・・・・・・・・・・・ 20

5．株価の推移と株主還元・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

6．トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

7．事業概要と成長戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

8．Appendix: 中期経営計画とグループ各社の事業内容・ 38

© MINATO HOLDINGS INC.

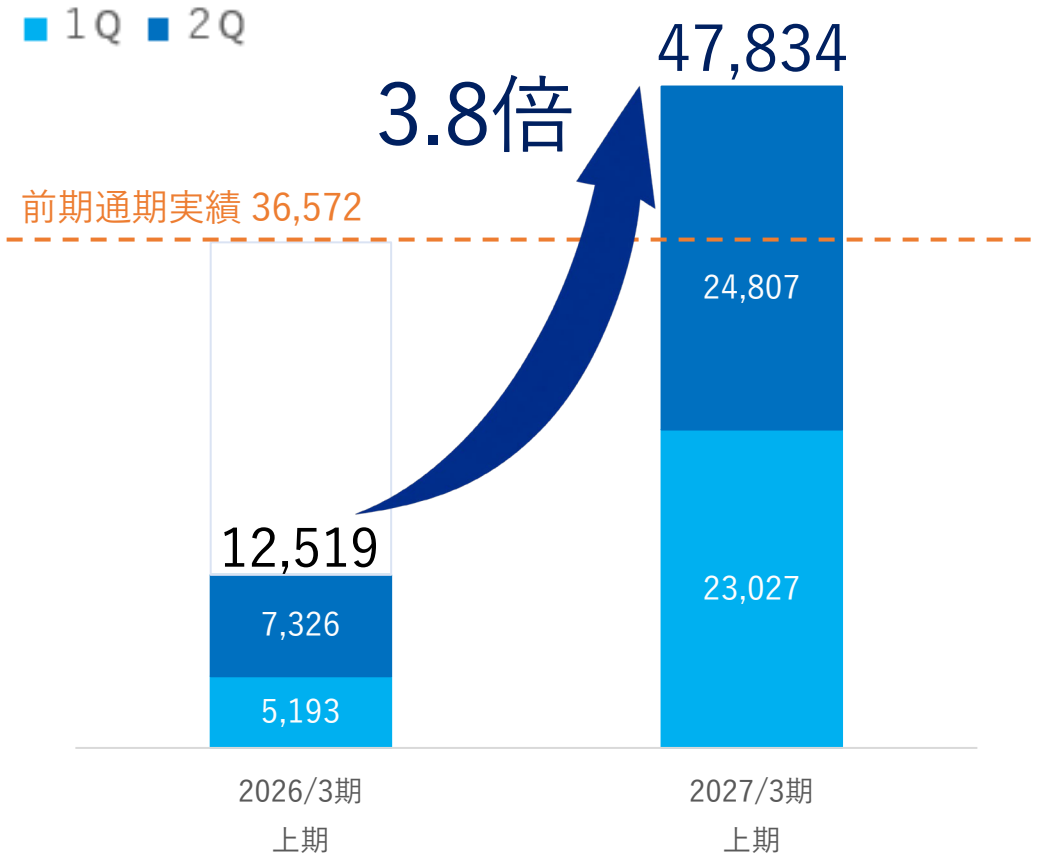
1. 2027年３月期　第２四半期決算ハイライト

売上高・利益ともに過去最高を更新、前期通期実績も上回る

メモリ需要の拡大や価格上昇を背景とした【デジタルデバイス】の成長に加え、M&Aによるグループ拡大も寄与し、前年同期比で大幅な増収増益を達成

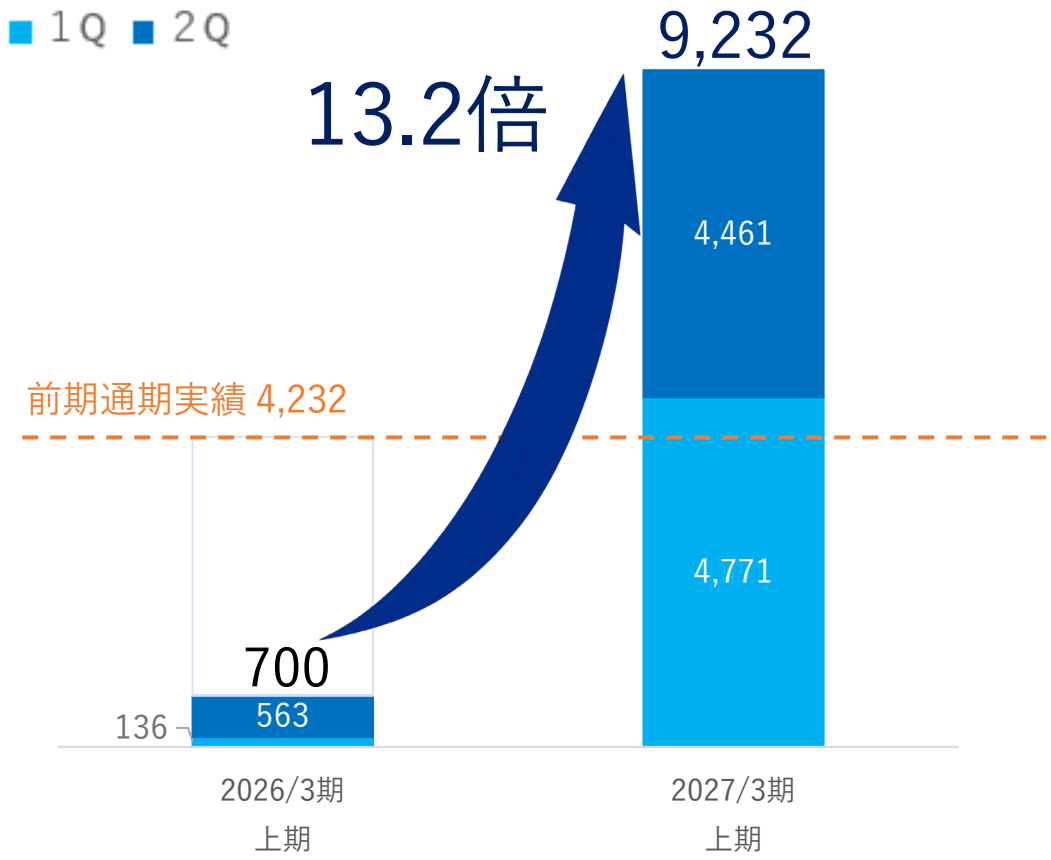
連結売上高（上期累計）

（単位：百万円）



連結営業利益（上期累計）

（単位：百万円）



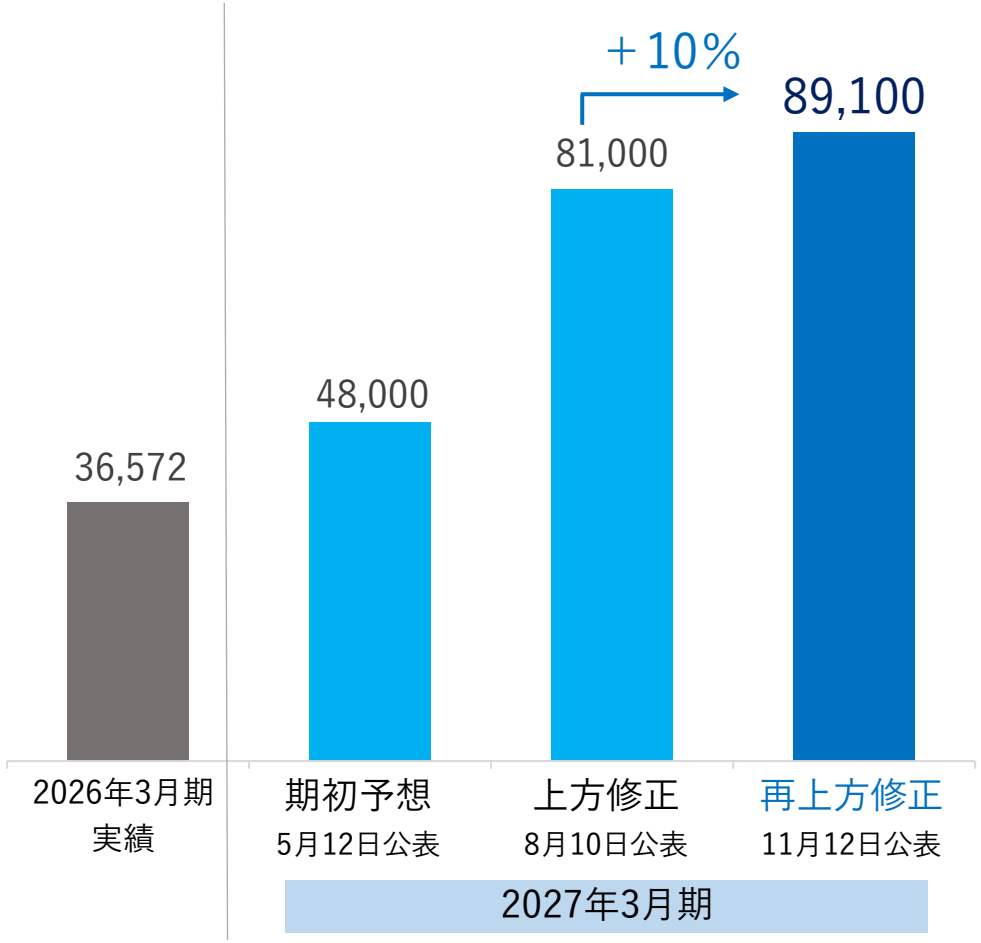
© MINATO HOLDINGS INC.

通期業績予想を再度上方修正、営業利益130億円へ

現時点で合理的に見通すことができる範囲で予想値を算定。さらなる業績の上積みを目指す

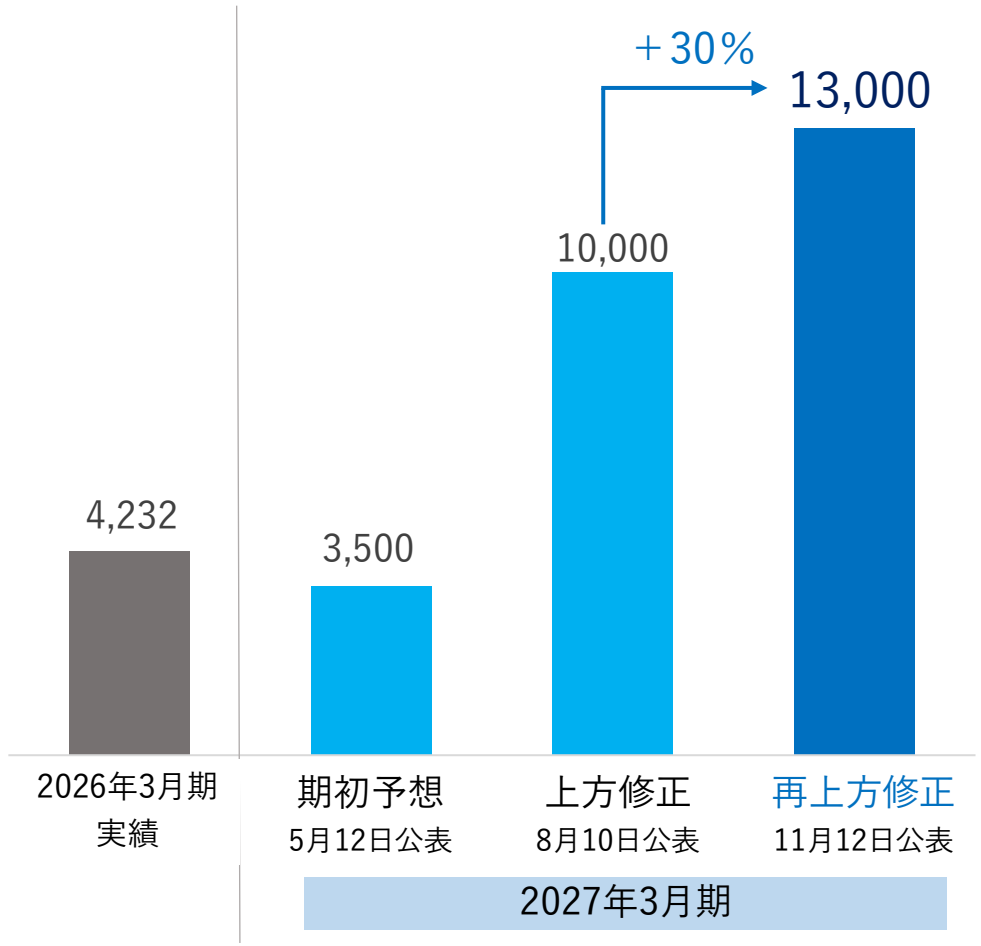
連結売上高（通期予想）

（単位：百万円）



連結営業利益（通期予想）

（単位：百万円）



© MINATO HOLDINGS INC.

2. 2027年３月期 第２四半期連結業績

2027年３月期 第２四半期 連結業績は過去最高を更新

2027年３月期 第２四半期累計業績

（単位：百万円）	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期		前年同期比	
売上高	12,519	過去最高	47,834	＋35,315	3.8倍
営業利益	700	過去最高	9,232	＋8,532	13.2倍
経常利益	619	過去最高	8,922	＋8,303	14.4倍
親会社株主に帰属する中間純利益	412	過去最高	6,093	＋5,681	14.8倍

ポイント

- 汎用メモリの需給逼迫及び価格上昇が継続する中、 主要仕入先との継続的な取引関係を活かして製品を確保。顧客需要の取り込みと販売価格の上昇により、【デジタルデバイス】が大幅に増収増益
- 【ICTプロダクツ】の堅調な成長に加え、新たに損益を連結業績に反映したグループ会社の業績も寄与

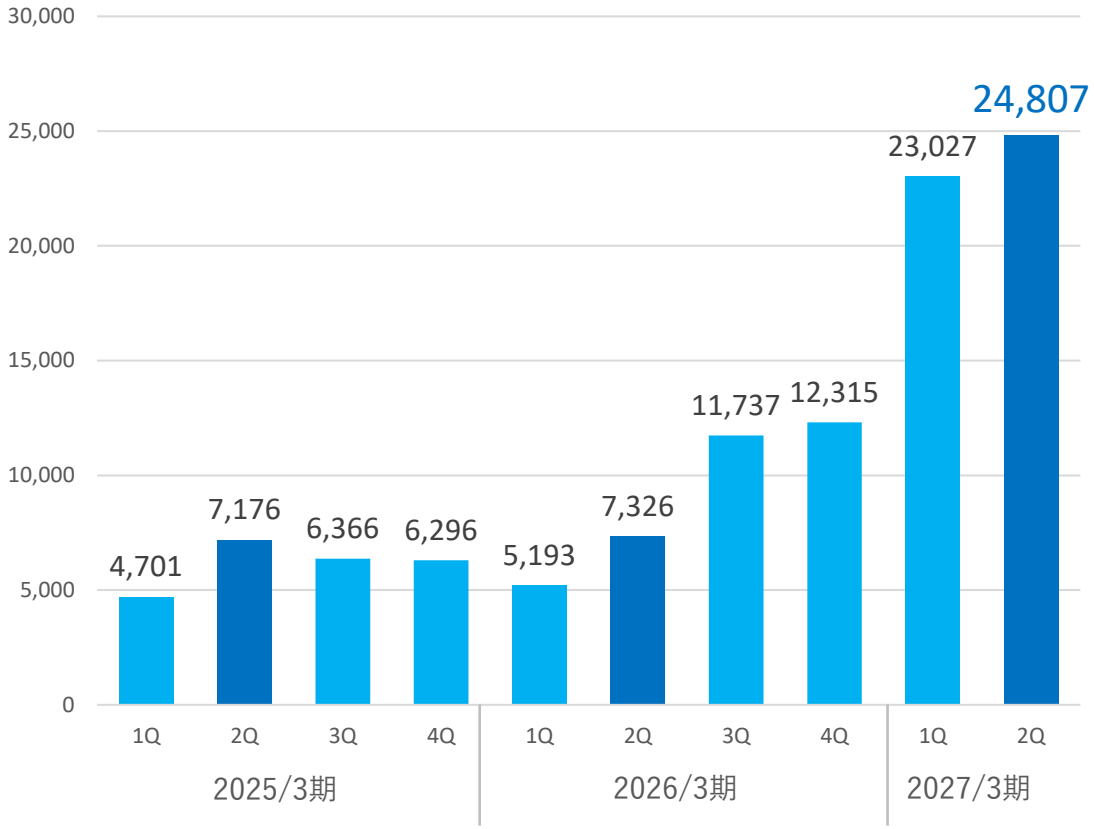
© MINATO HOLDINGS INC.

四半期 連結売上高・連結営業利益の推移

売上高は四半期推移で過去最高を更新。営業利益は第１四半期を下回るものの、引き続き高水準を維持

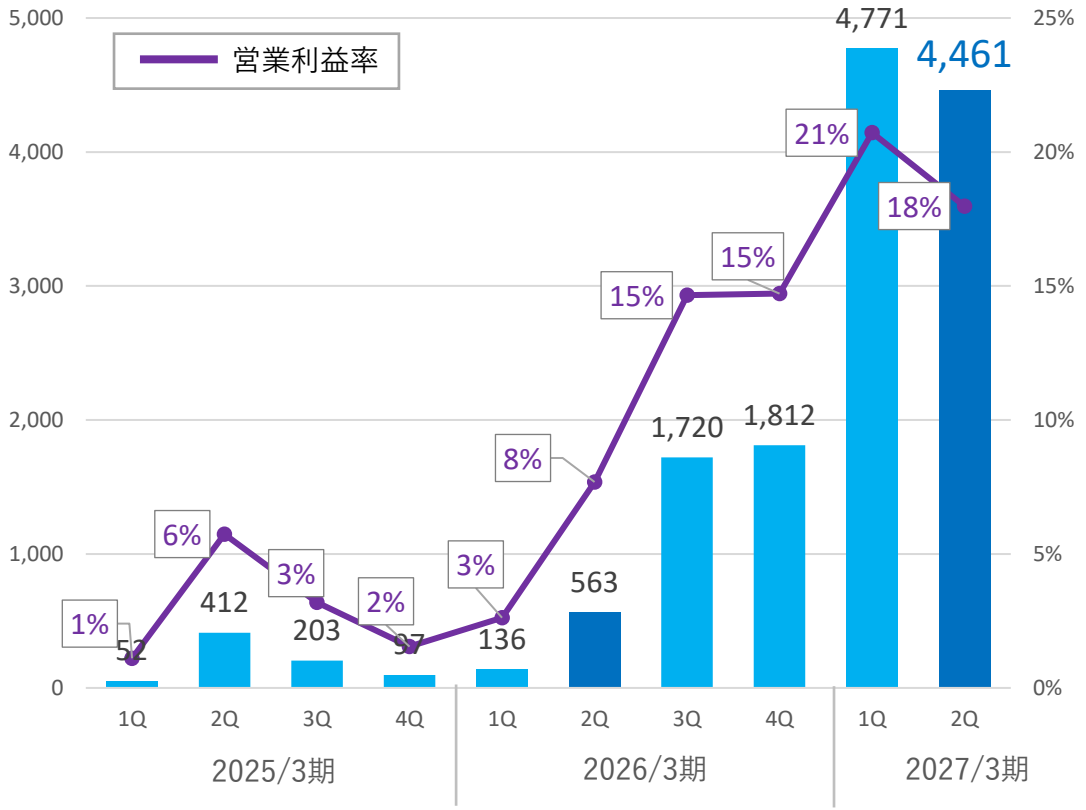
連結売上高（四半期）

（単位：百万円）



連結営業利益（四半期）

（単位：百万円）



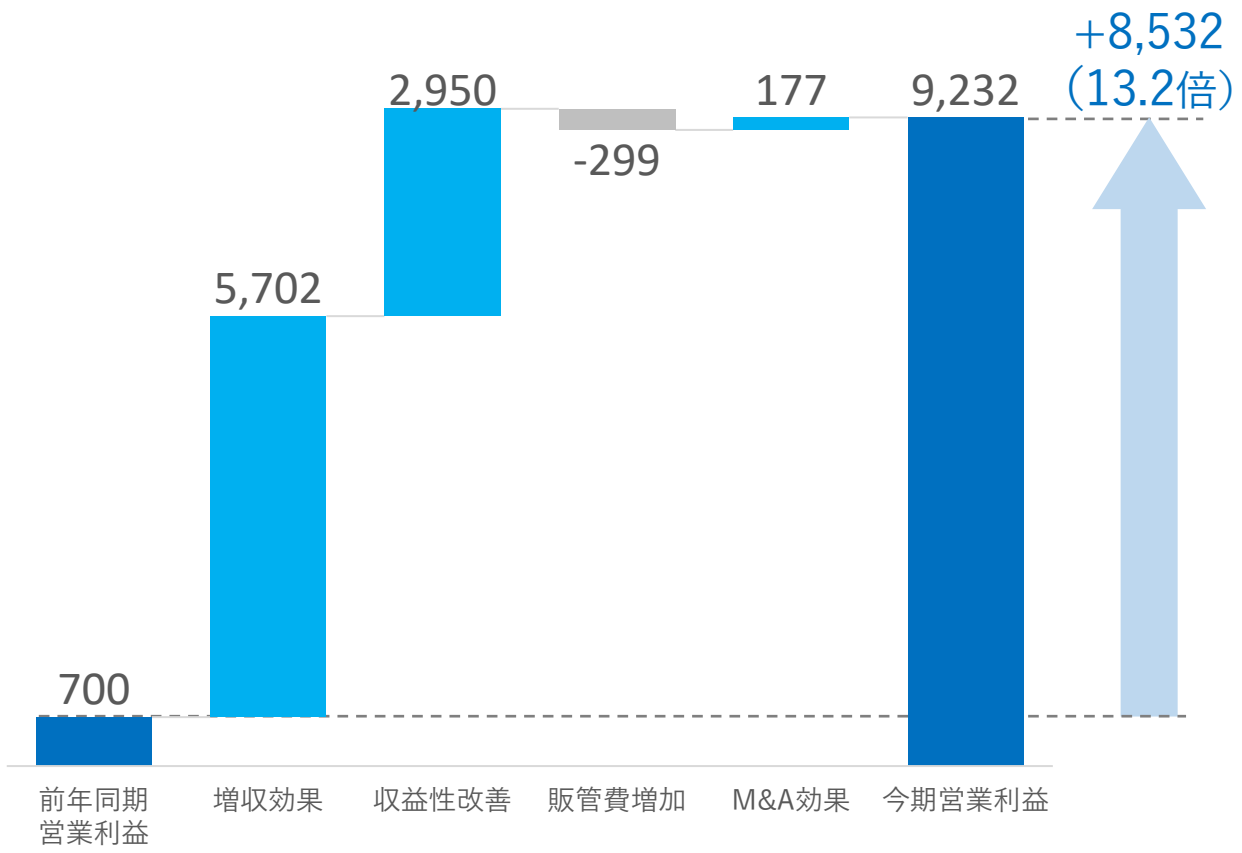
© MINATO HOLDINGS INC.

連結営業利益の増減分析

メモリ価格の上昇による売上高の増加及び利益率の改善を主因に、販管費の伸びの抑制やM&A効果も寄与し、大幅な増益

連結営業利益の増減分析

（単位：百万円）



ポイント

- メモリ価格の上昇と安定供給を通じた顧客需要の取り込みにより、大きな増収効果
- 販売環境の好転を背景に、【デジタルデバイス】の粗利率が改善し、利益を押し上げ
- 事業規模の拡大に対して、販売費及び一般管理費の増加は抑制
- 新たに連結対象となった富士電工、ブレイン、インテグの寄与で、177百万円の営業利益増

© MINATO HOLDINGS INC.

連結貸借対照表：事業拡大により純資産が増加

メモリ関連資産の増加、富士電工の連結等により総資産が増加した一方、利益の積み上げにより純資産も増加し、自己資本比率は目標とする30％以上に回復

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減額
資産の部	32,110	47,379	+15,269
現金及び預金	2,345	7,674	+5,329
営業債権	7,472	11,893	+4,420
棚卸資産	12,445	15,164	+2,719
有形・無形固定資産	3,391	3,436	+44
投資有価証券	709	2,173	+1,463
負債の部	24,027	33,009	+8,982
営業債務	3,990	9,475	+5,484
借入金	16,872	17,341	+469
純資産の部	8,083	14,370	+6,287
株主資本	7,872	13,900	+6,027
負債・純資産合計	32,110	47,379	+15,269

ポイント

【総資産】

- メモリ関連資産の増加に加え、富士電工の連結子会社化（68億円）により、総資産が拡大

【営業債権・営業債務・棚卸資産】

- メモリ関連事業の拡大による増加に加え、富士電工の新規連結も影響（営業債権＋23億円、営業債務で＋47億円の増加）
- 棚卸資産＋27億円増加は主にメモリ関連製品の増加による

【純資産】

- 親会社株主に帰属する中間純利益の計上を主因に、純資産が大幅に増加

【自己資本比率】

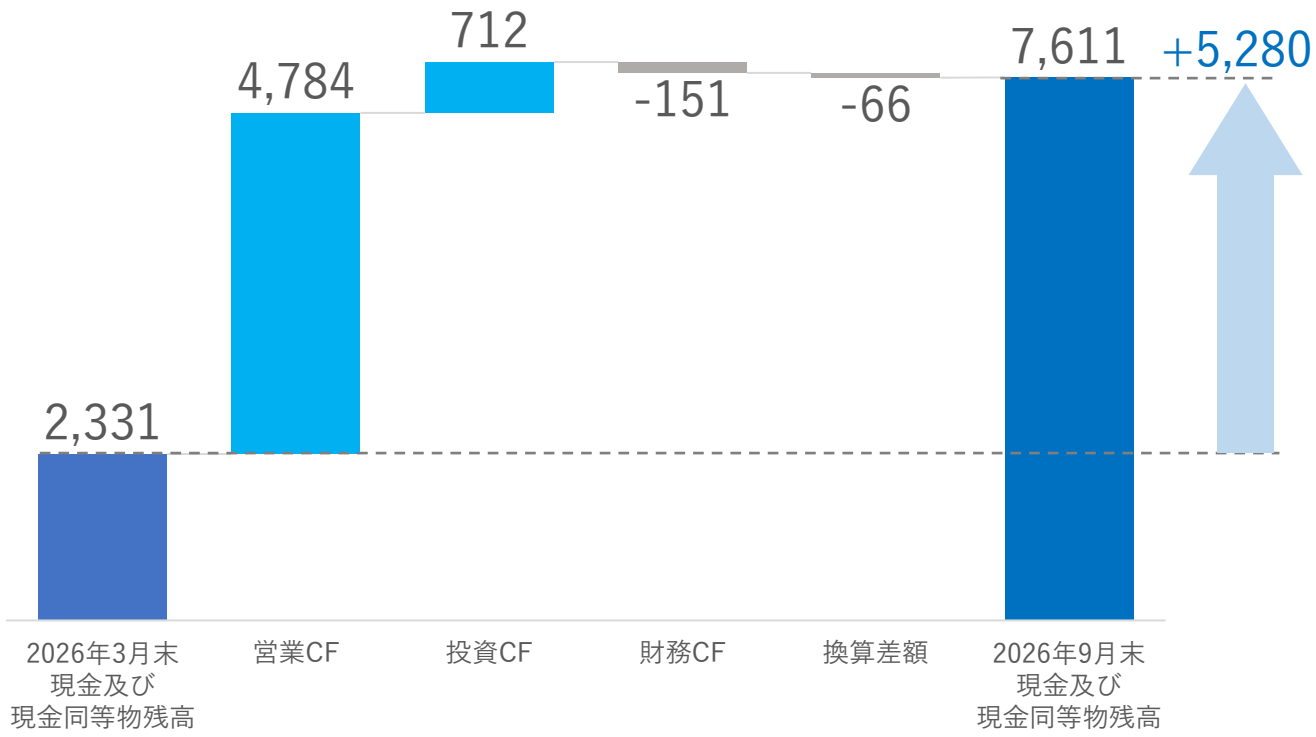
- 総資産が拡大したものの、利益の積み上げにより自己資本が増加し、自己資本比率は前期末の25.2％から30.3％へ上昇

© MINATO HOLDINGS INC.

キャッシュ・フロー計算書：利益の増加により大幅なプラスに

大幅な収益拡大により運転資金の増加を吸収し、営業キャッシュフローが大幅に改善

現金残高の増減要因（2026年4月～9月）（単位：百万円）



ポイント

【営業キャッシュ・フロー】

- 【デジタルデバイス】を中心とする大幅な収益拡大により、運転資金の増加を吸収し、前年同期から大幅に改善して4,784百万円のプラス
- 前期はメモリ製品の調達拡大に伴う棚卸資産や前渡金の増加によりマイナスとなったが、当中間期はプラスに転換

【投資キャッシュ・フロー】

- 富士電工等の子会社株式取得に伴う支出を、取得子会社が保有する現預金の取り込みが上回り、644百万円の収入を計上

© MINATO HOLDINGS INC.

3. セグメント別 第２四半期業績

2027年３月期から５セグメントに変更し、各事業を推進

略称	セグメント名	グループ会社	事業内容
DD	【デジタルデバイス】	▪ サンマックス・テクノロジーズ ▪ 港御（香港）有限公司	自社ブランドのメモリモジュールをはじめとする各種メモリ製品の販売
DE	【デジタル エンジニアリング】	▪ ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ ▪ エクスプローラ ▪ 港御（上海）信息技術有限公司	デバイスプログラマの開発、プログラムの書込みサービス（ROM書込みサービス）の提供、ソフトウェアやハードウェアの設計開発
ICT	【ICTプロダクツ】	▪ プリンストン ▪ ブレイン	デジタルデバイス周辺機器、ビデオ会議システム、モバイルアクセサリ等の販売
EM	【エレクトリカル マテリアルズ】	▪ 富士電工	各種電線、ケーブル、ハーネス、電子部品及び電材等の販売
DM	【デジタル マーケティング】	▪ ブレイン ▪ インテグ ▪ 日本ジョイントソリューションズ ▪ ダイキサウンド ▪ ブレーン ▪ ピーディック	デジタルマーケティング事業、デジタルコンテンツ制作事業、DXソリューション事業等の提供

© MINATO HOLDINGS INC.

セグメント別業績：【デジタルデバイス】がグループ業績を牽引

【デジタルデバイス】が大幅な増収増益となったほか、【ICTプロダクツ】の増収増益、【エレクトリカルマテリアルズ】の新設等で業績が拡大

（単位：百万円）

セグメント名		2026年３月期　第２四半期累計実績			2027年３月期　第２四半期累計実績		
		売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
DD	【デジタルデバイス】	6,361	686	10.8%	31,005	8,693	28.0%
DE	【デジタル エンジニアリング】	1,661	232	14.0%	2,070	213	10.3%
ICT	【ICTプロダクツ】	3,969	210	5.3%	7,451	653	8.8%
EM	【エレクトリカル マテリアルズ】	―	―	―%	6,605	102	1.6%
DM	【デジタル マーケティング】	779	12	1.7%	1,589	15	1.0%

※セグメント間の内部売上高または振替高を加えたセグメント売上高を表示しています

© MINATO HOLDINGS INC.

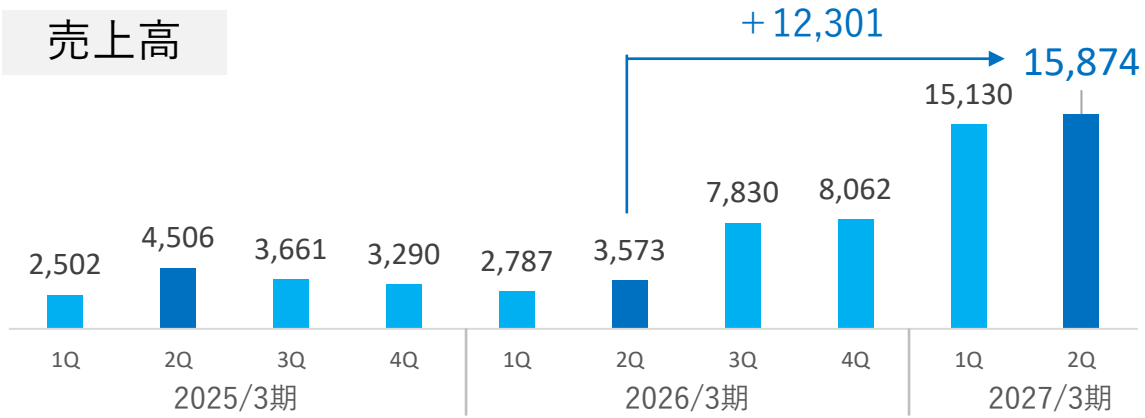
DD 【デジタルデバイス】調達力を活かし大幅増収増益、営業利益率も高水準を維持

関連グループ会社： SanMax Technologies　港御（香港）有限公司

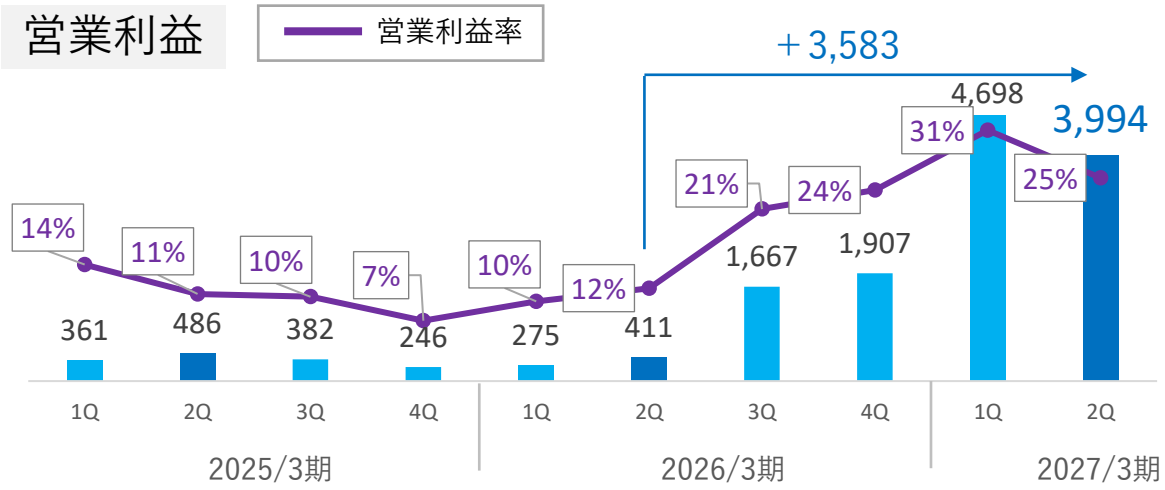
業績推移

（単位：百万円）

売上高

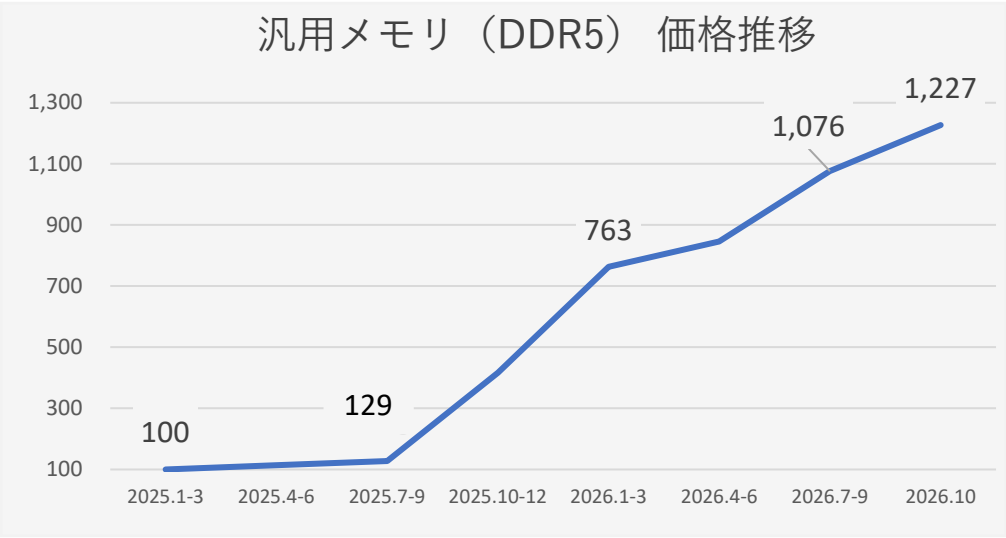


営業利益



ポイント

- 汎用DRAM・NANDフラッシュメモリ（汎用メモリ）の需給逼迫・価格上昇が継続。主要仕入先との継続的な取引関係を活かし、製品確保と安定供給を推進
- 主力製品のDIMM・SSD・eMMC等の既存顧客需要や新規案件に対応し、販売価格上昇も加わり、大幅増収。収益性改善と売上拡大に対する限定的な費用増により増益



※ 当社調べ。2025年1－3月の平均価格を100として指数化

© MINATO HOLDINGS INC.

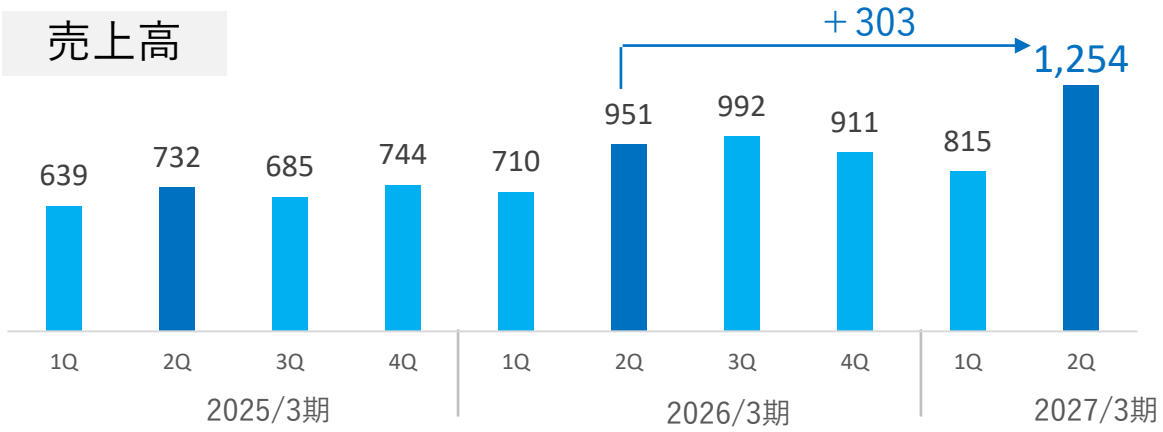
DE 【デジタルエンジニアリング】デバイスプログラマ・エレクトロニクス設計が増収

関連グループ会社： MINATO ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ　Explorer 港御（上海）信息技術有限公司

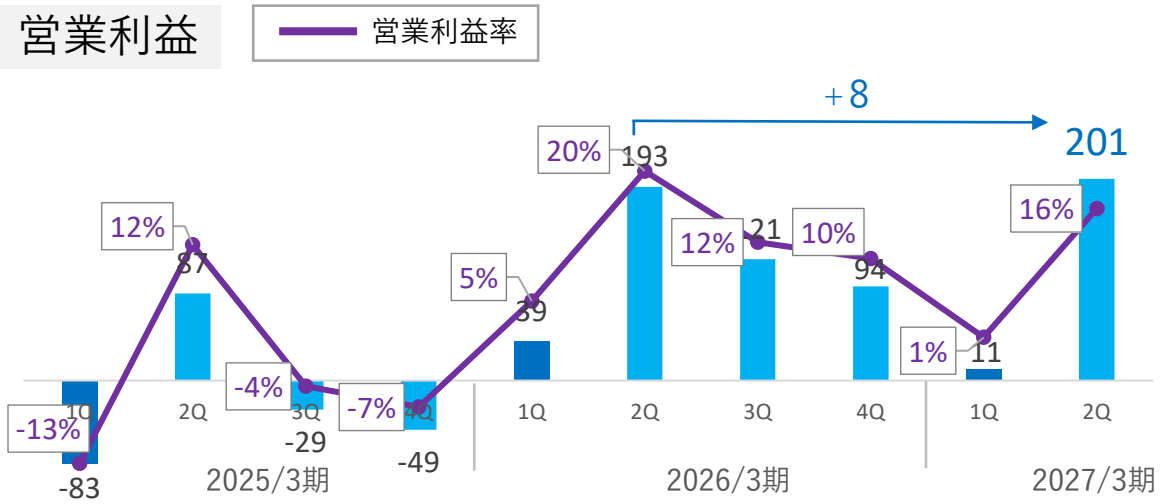
業績推移

（単位：百万円）

売上高



営業利益



ポイント

- ROM書込みサービス事業では、日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカー向けプロジェクトを継続。書込み数量は前年同期をやや下回る
- デバイスプログラマ事業については、車載・産業機器向けオートハンドラの設備導入や変換アダプタの受注などにより、前年同期比で増収
- エレクトロニクス設計事業では、顧客需要の増加を背景に、医療機器・産業機器向けを中心とした設計・製造受託案件により、前年同期比で増収

© MINATO HOLDINGS INC.

ICT

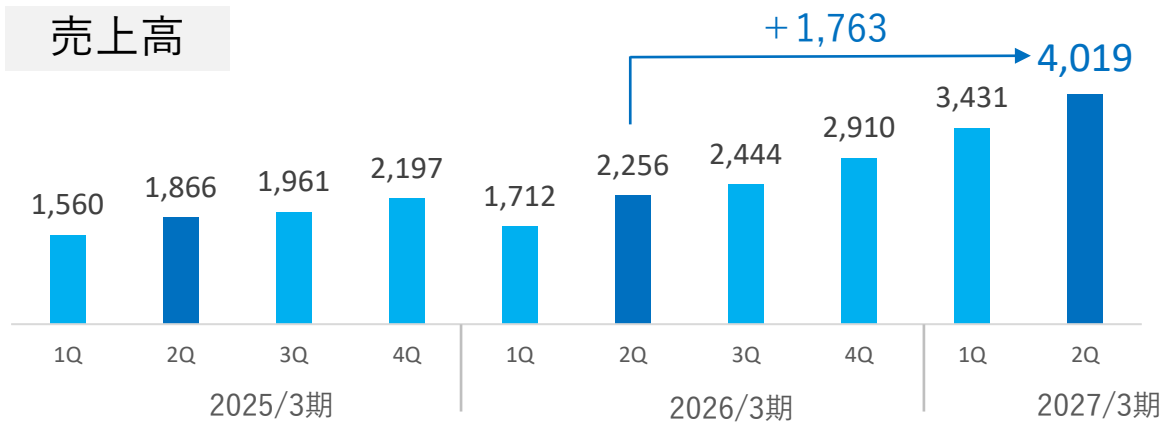
【ICTプロダクツ】プリンストンの上期過去最高益更新、M&A効果も寄与

関連グループ会社：

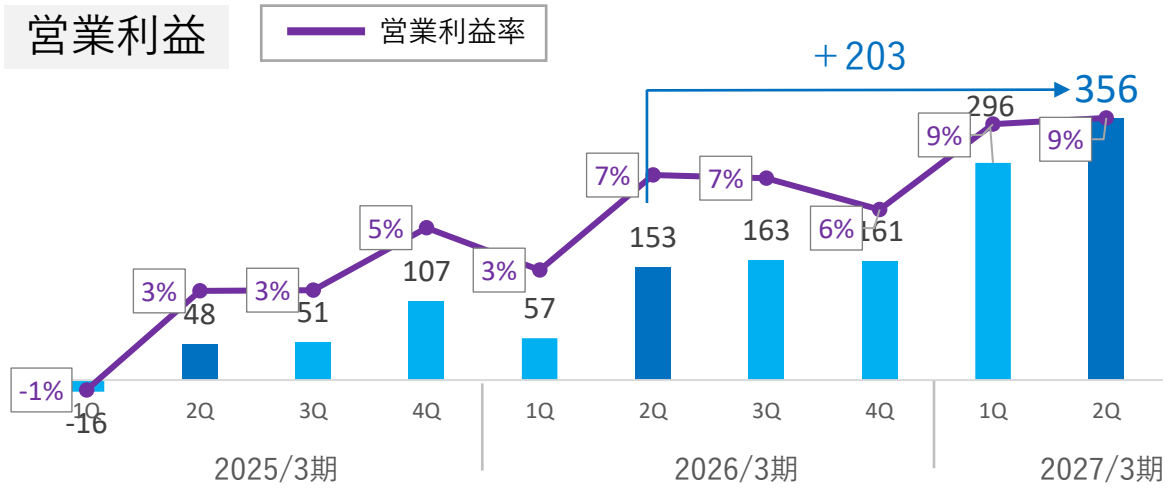
業績推移

（単位：百万円）

売上高



営業利益



ポイント

- 採算性の低いメーカーの取り扱い見直しでテレワーク関連全体では減収だが、会議室リニューアル需要を背景に据置型デジタル会議システムやIP電話機の需要が伸長
- サーバー用周辺機器や個人向けモバイルアクセサリ、グローバルゲーミングブランド「CORSAIR（コルセア）」の販売が拡大。売上拡大に対して費用増が限定的となり、増益に寄与
- 2026年２月にグループ入りしたブレインの業務用モバイル端末・ハンディーターミナル等の販売が増収に寄与し、上期累計の営業利益を69百万円押し上げ

© MINATO HOLDINGS INC.

EM 【エレクトリカルマテリアルズ】 AI・産業機械関連向けの販売が好調

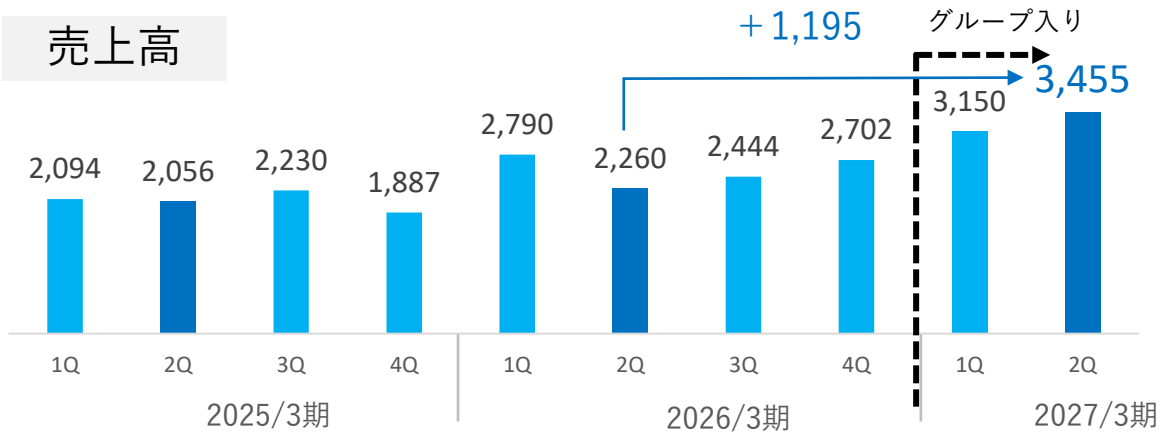
MINATO

関連グループ会社： 富士電工 FUJI DENKO COMPANY （2026年4月よりグループ入り）

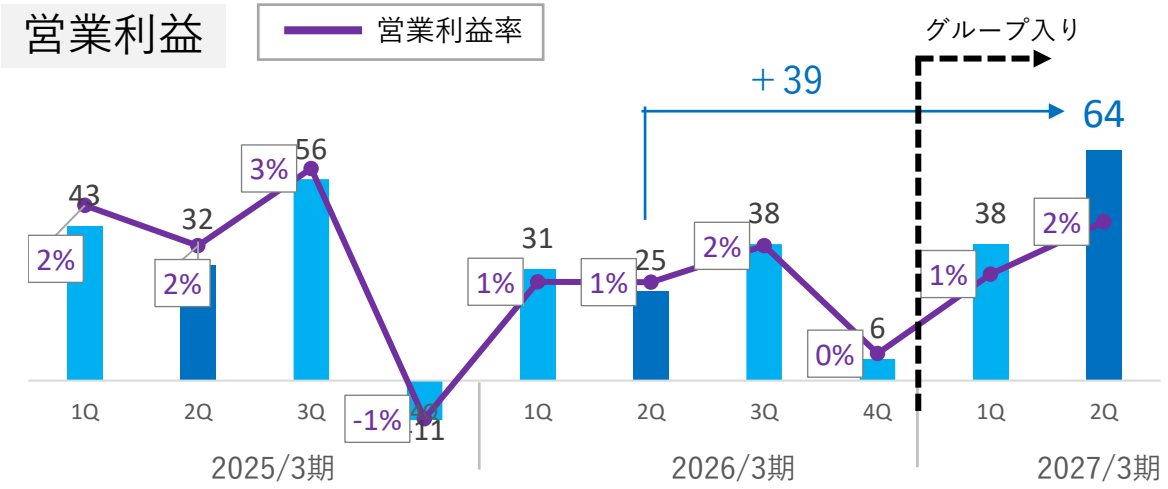
業績推移

（単位：百万円）

売上高



営業利益



ポイント

- 2026年４月にグループ入りした富士電工が当第１四半期より連結業績に加わり、連結売上高・営業利益の増加に貢献
- AI関連分野や半導体製造装置をはじめとする産業機械関連向けの販売が好調に推移し、グループ入り前の前年同期比で増収増益
- グループ連携による商材の相互提案等を進め、下期の業績貢献を目指す

※2026年３月期以前の数値は、グループ入り前の実績を参考値として掲載しています

© MINATO HOLDINGS INC.

DM

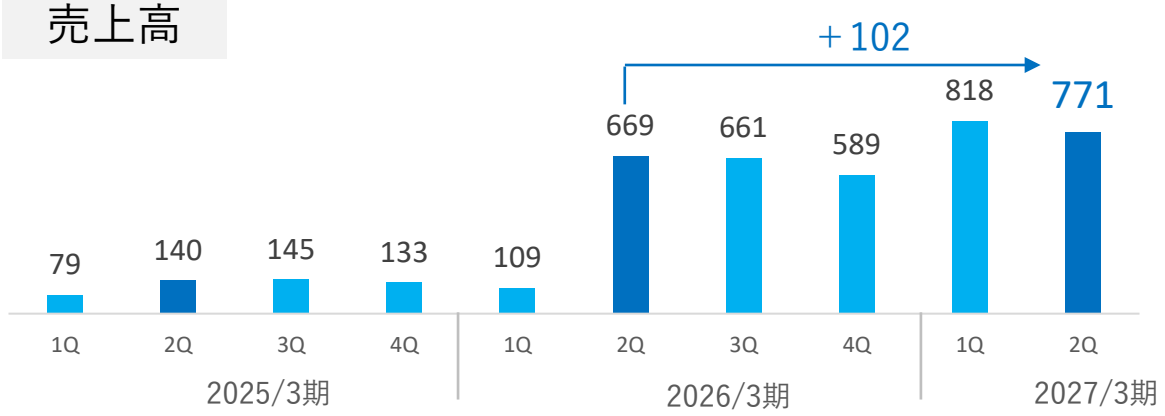
【デジタルマーケティング】M&Aにより事業領域が拡大

関連グループ会社：

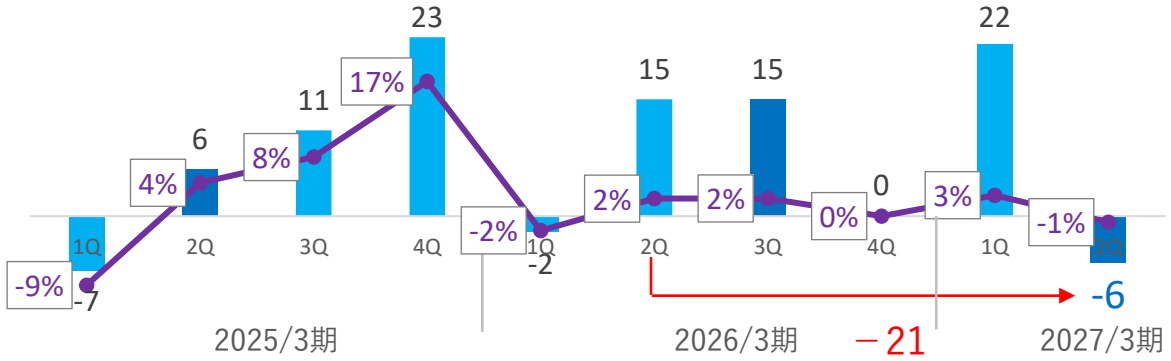
業績推移

（単位：百万円）

売上高



営業利益



ポイント

- 2026年２月に総合広告代理店業のブレイン、４月には3DCGを中心としたデジタルコンテンツ制作のピーディックをグループ会社化
- M&Aによる連結範囲の拡大で、売上高が増加
- 利益面では、上期にM&A効果で13百万円増や既存事業の収益改善が寄与。一方、のれん償却費の一時的な増加（下記参照）もあって第２四半期単体では前年同期比で減益

適時開示事項（2026年10月7日付）の会計処理

ダイキサウンドの売掛金及び買掛金に係る会計処理の見直しに伴い、のれんを約150百万円追加計上するとともに、これに係るのれん償却費17百万円を当中間期に一括計上

© MINATO HOLDINGS INC.

4. 2027年３月期 通期連結業績予想

通期業績予想を再度上方修正、営業利益130億円へ

MINATO

2027年３月期通期業績予想の上方修正

（単位：百万円）	前回発表予想 （8月10日公表）	今回修正予想 （11月12日公表）	増減	
売上高	81,000	89,100	＋8,100	＋10.0%
営業利益	10,000	13,000	＋3,000	＋30.0%
経常利益	9,300	12,090	＋2,790	＋30.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,000	7,800	＋1,800	＋30.0%

ポイント

- ■ メモリ製品等の販売拡大・収益性改善により、上期業績が想定を上回る
- ■ 下期の市況・仕入原価の影響を慎重に見極め、合理的に見通せる範囲で予想値を算定。さらなる業績の上積みを目指す

※業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後の様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

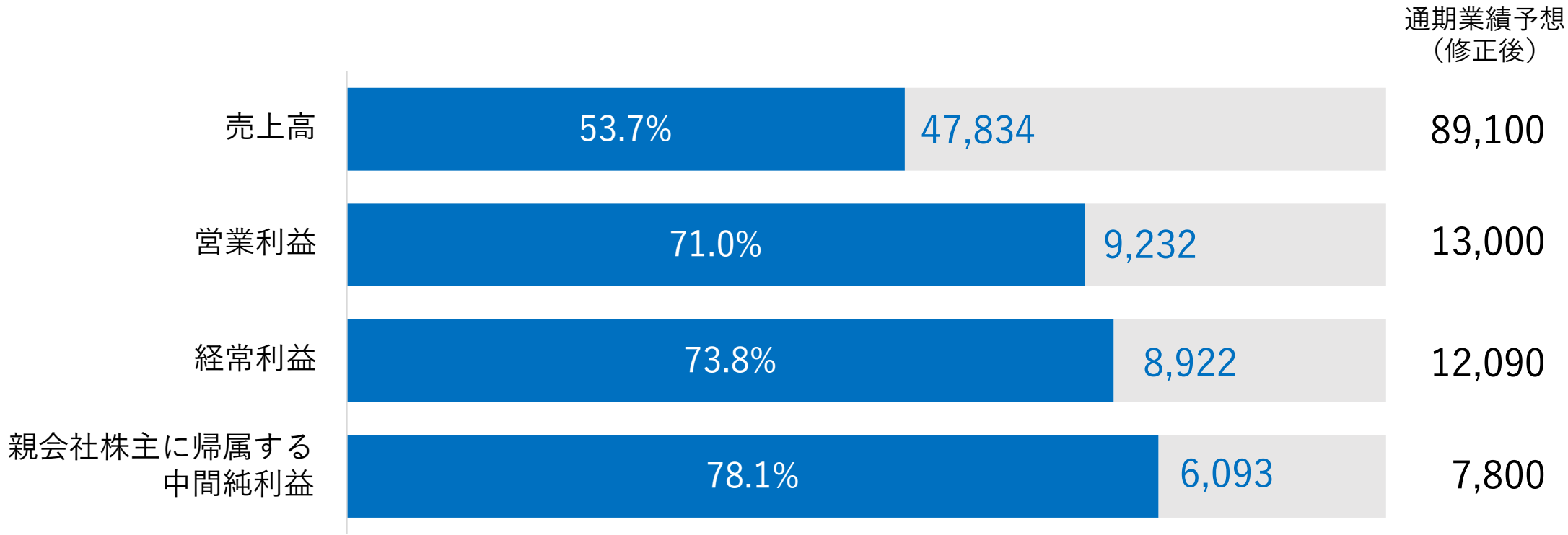
© MINATO HOLDINGS INC.

再度の上方修正後の通期業績予想に対し、利益は70%超の進捗

再度の上方修正による予想数値に対しても、売上高、利益ともに順調な進捗

通期連結業績予想に対する第２四半期累計実績の進捗率

（単位：百万円）

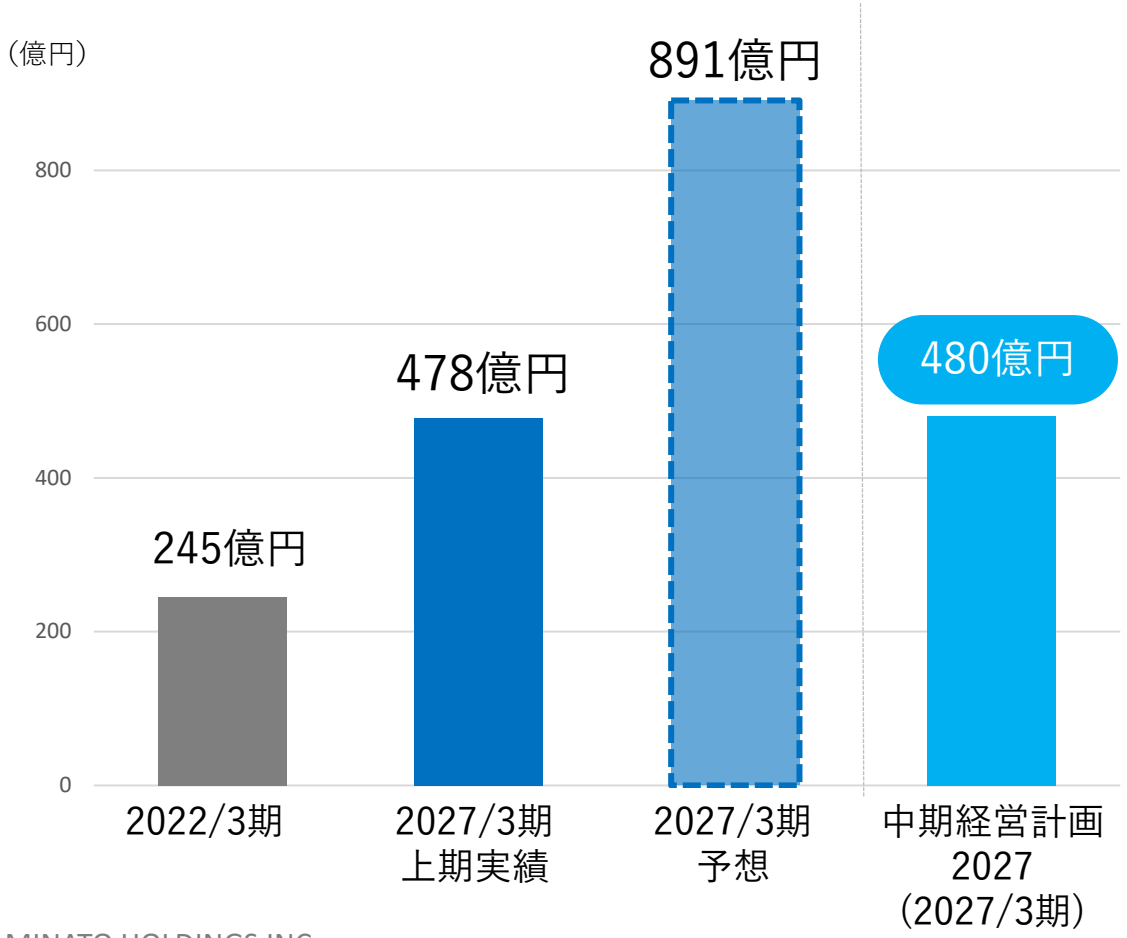


© MINATO HOLDINGS INC.

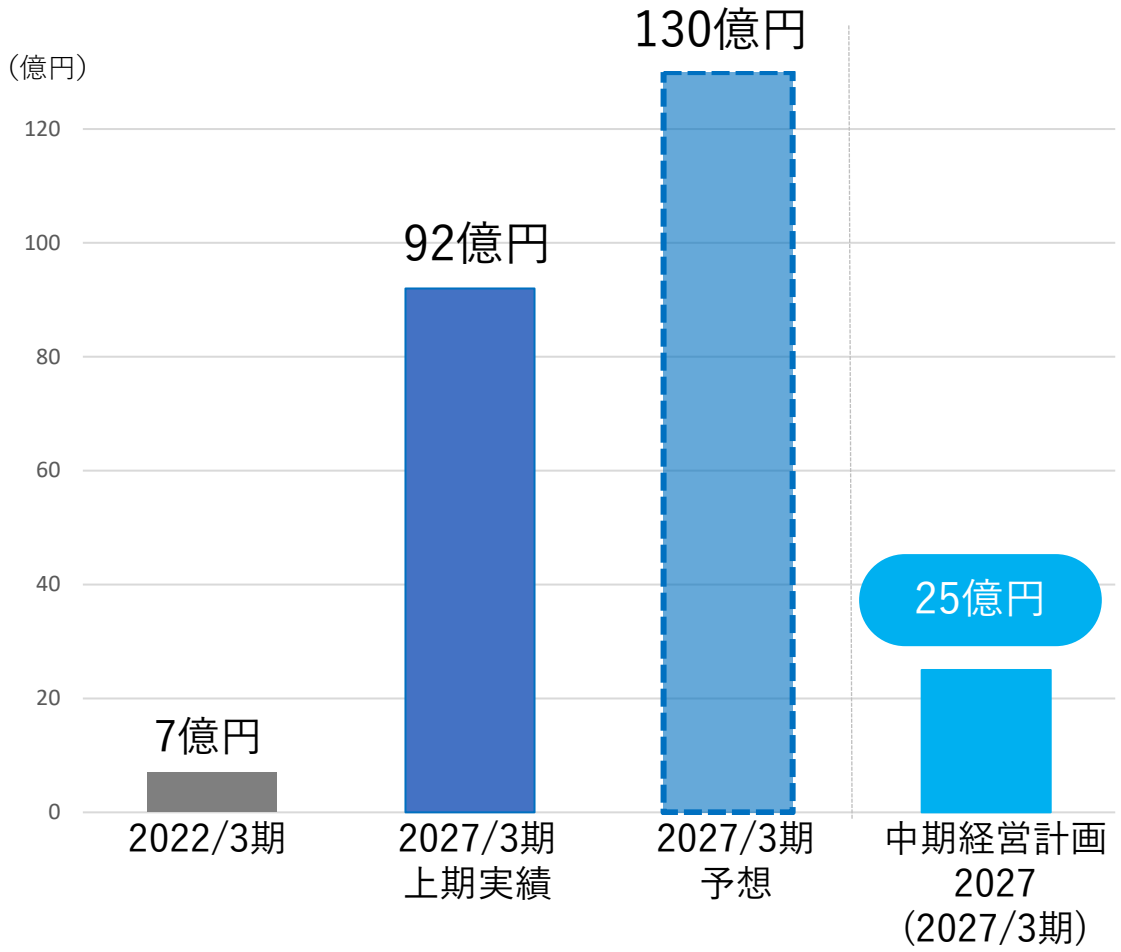
「中期経営計画2027」の数値目標を大幅に超過

再上方修正後の業績予想は、売上高は中期経営計画における目標の約1.9倍、営業利益は5.2倍

連結売上高



連結営業利益

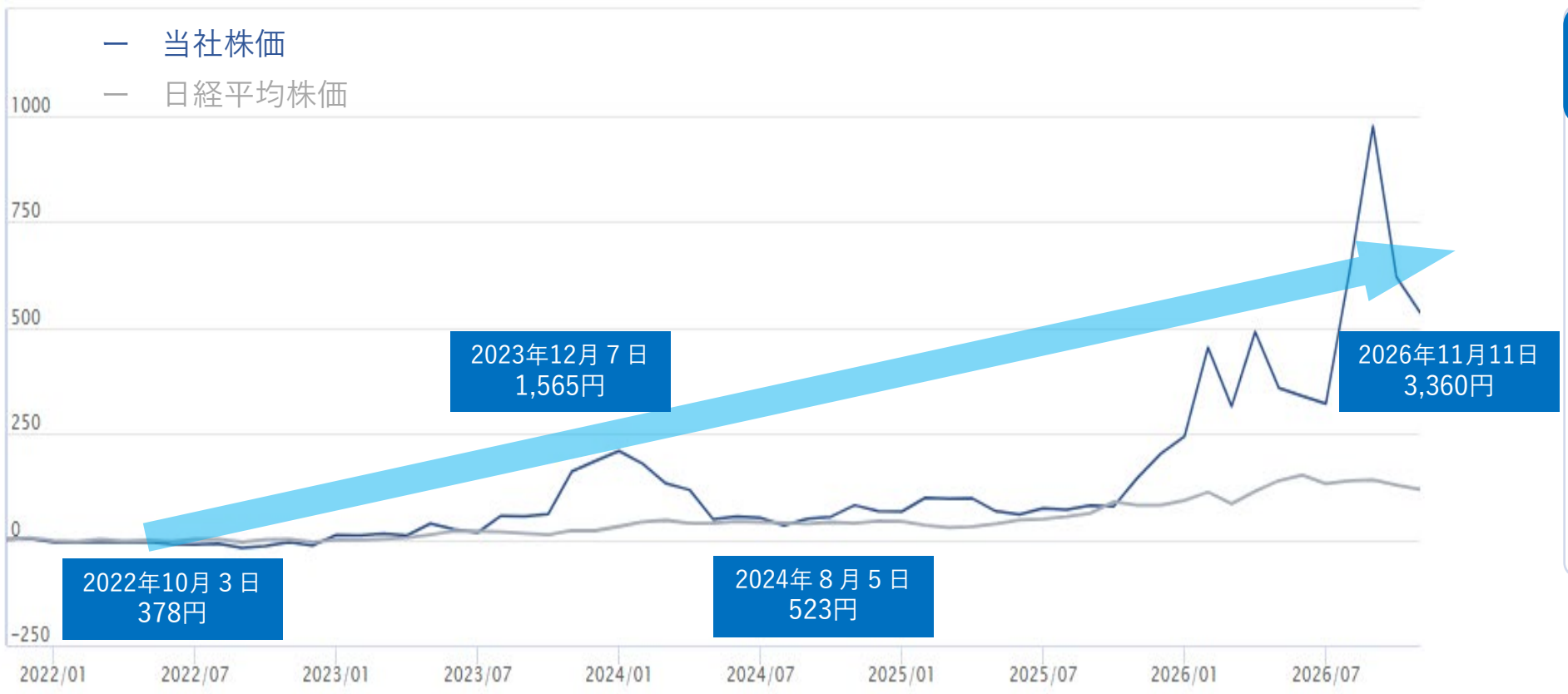


© MINATO HOLDINGS INC.

5. 株価の推移と株主還元

株価は直近５年の最安値から大きく上昇中

当社株価は2022年10月の安値から大きく上昇し、現在は約8.9倍（378円→3,360円）の水準



約30年４か月ぶりの高水準
調整後終値で比較

1996年５月13日
5,700円

2026年９月25日
5,690円

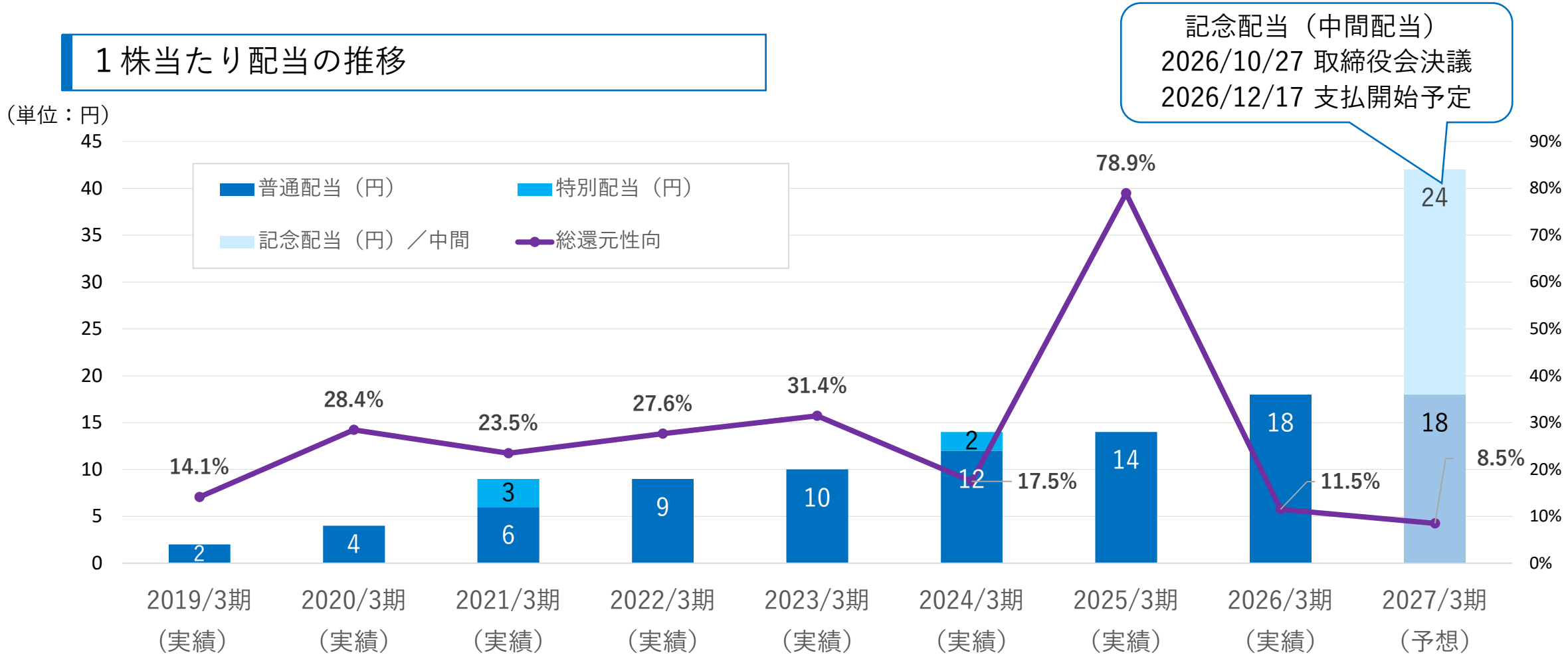
※ 株価グラフは月末終値の推移（直近は2026年11月11日終値）。 2021年11月末を基準とした当社株価と日経平均株価の騰落率を表示
※ 2022年10月３日、2023年12月７日、2024年８月５日の株価は取引時間中の株価を掲載し、2026年９月25日、2026年11月11日の株価は終値を掲載
※ 約30年４か月ぶり：調整後終値で比較。前回の同水準以上は1996年５月13日の5,700円

© MINATO HOLDINGS INC.

株主還元

株主還元は、配当、自己株式取得、株主優待の３つの柱で構成。現在は配当と自己株式取得を強化
設立70周年記念配当の中間配当24円を決定

１株当たり配当の推移

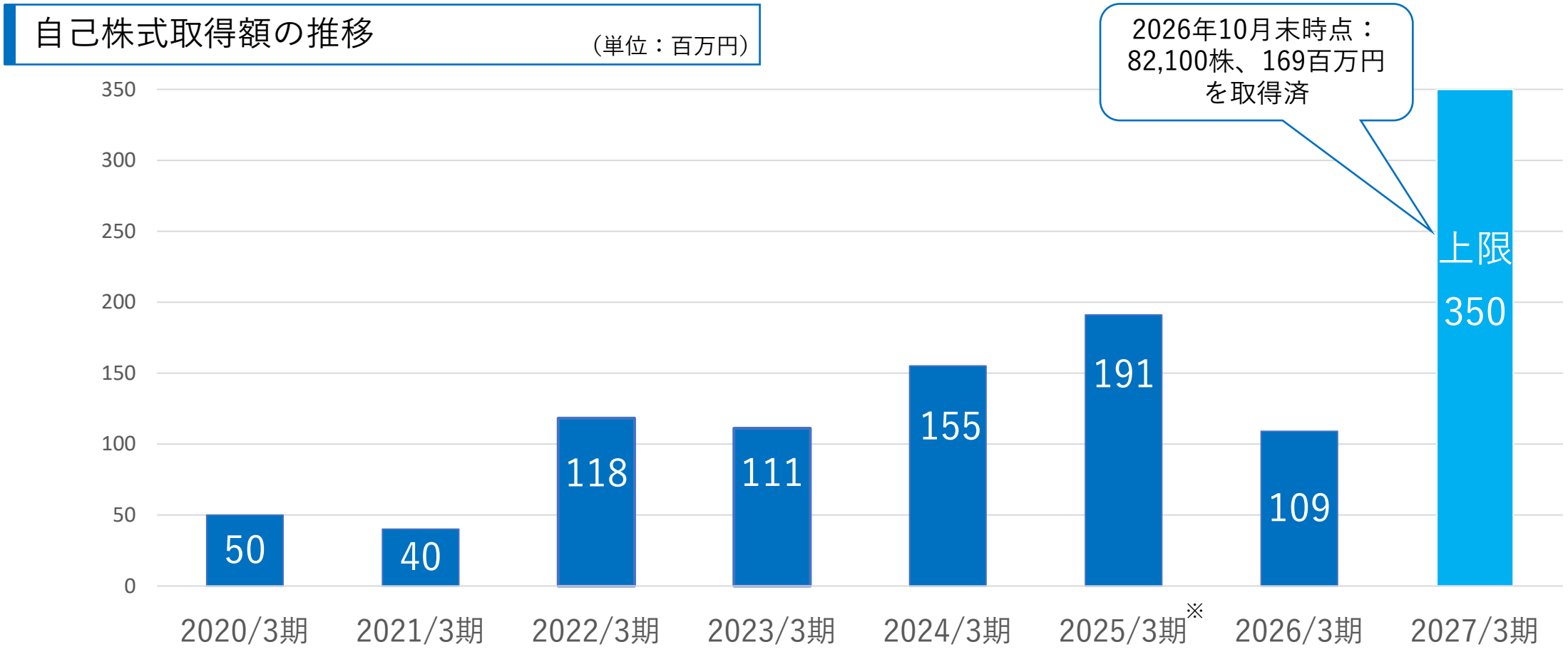


※ 本グラフの総還元性向は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率です。2027年３月期の予想は、自己株式取得額を取得上限の350百万円として算出しています。

© MINATO HOLDINGS INC.

自己株式取得を継続的に実施中

2027年３月期は、取得株式総数100千株、取得価額の総額350百万円をそれぞれ上限とする自己株式取得を2026年５月より実行中



※ 2025年３月期は2024年２月および同年９月開催の取締役会決議分の合計実績

© MINATO HOLDINGS INC.

6. トピックス

株主・投資家との対話の充実

IRフェアで当社株式への関心が向上。機関投資家・アナリストとの対話も積極的に実施

日経・東証IRフェア2026　実績報告

「当社株式に興味がある」と回答

82.7%（前年　54.6%）

2026年8月28日・29日開催（東京ビッグサイト）

- 会社説明会 110人（前年比＋39.2%）
- ブース内プレゼン 324人（前年比＋9.5%）



当社会長の若山による会社説明会



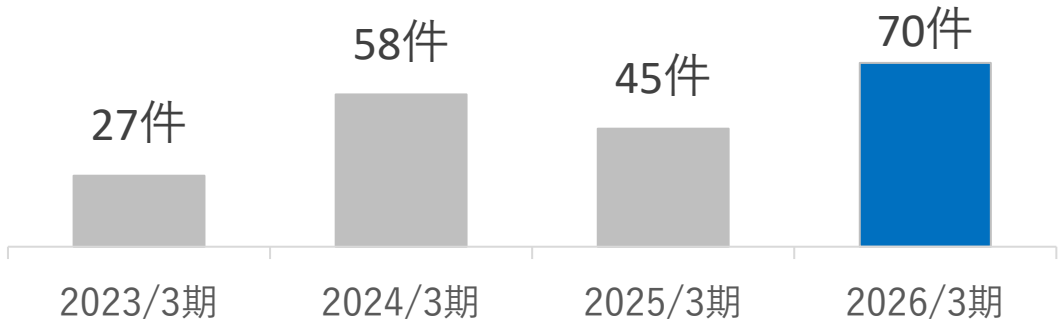
ブース内プレゼン

機関投資家・アナリスト取材

2027年３月期 第１四半期発表後

対応件数　**23 件**

（前期年間70件の約3分の1に相当）



今後の個人投資家向け会社説明会

- 2026年11月17日（火）名古屋開催
- 2026年12月10日（木）東京開催

2027年２月に福岡、東京にて開催を予定しております。
詳細は、当社HPをご確認ください。

「TOPIX Next-tier」構成銘柄への選定

積極的な情報開示と対話を通じ、将来的なプライム市場への移行も視野に

機関投資家との接点を広げる機会

時価総額は約１年間で

約 4.0 倍 に拡大

約 68 億円		約 274億円
2025年10月30日	➡	2026年10月30日

選定を契機とした取り組み

- 国内外の機関投資家への働きかけを強化
  事業基盤や中長期の成長戦略への理解を促進
- 株主構成の多様化・流動性向上を目指す
  説明会や積極的な情報発信を通じ、幅広い投資家との接点を拡大
- 企業価値のさらなる向上を追求
  既存事業の強化とデジタルコンソーシアム構想の推進

TOPIX　Next-tierとは

TOPIX に選定されない東京証券取引所上場銘柄（初期選定ではTOPIX の移行措置銘柄を含む）のうち、流動性及び浮動株時価総額の一定基準を満たす銘柄を対象とする株価指数であり、投資対象となる銘柄群の裾野を維持することを目的として新たに算出されるもの

※時価総額は、各日の東京証券取引所における当社株式の終値に、それぞれの時点の発行済 株式総数（自己株式を含む）を乗じて算出

グループの事業活動・社会貢献を積極的に発信

SNS（X・Facebook・Instagram）を活用し、グループの取り組みをより身近にタイムリーに発信中

富士電工

2026年8月28日プレスリリース

富士電機の「コアパートナー企業」に３年連続で認定

品質・コスト・納期に基づく評価に加え、2023年末以降の電線供給逼迫時の安定供給の対応が高く評価されました。



エクスプローラ

2026年9月14日プレスリリース

「モノづくりフェア2026」でミナト・アドバンスト・テクノロジーズ、ブレインの製品・サービスも出展し、製造現場を支える製品・技術を紹介いたしました。





プリンストン

2026年10月30日プレスリリース

「第15回 NIPPON IT チャリティ駅伝」に協賛

NIPPON IT Charity EKIDEN
2026.11.15 SUN
@ODAIBA, TOKYO
NIPPON IT チャリティ駅伝
nit-run.com

2022年から継続して協賛しており、ゴールドスポンサーとして液晶ディスプレイを提供し、大会をサポートします。11月15日（日）に東京都江東区お台場で開催されます。

ミナトホールディングスグループ

2026年10月7日プレスリリース

令和８年熊本地震 災害義援金を寄付

被災地の１日も早い復旧・復興をグループ一同心よりお祈り申し上げます。

設立70周年に向けた取り組み

2026年12月17日の設立70周年を契機に、当社グループの歴史や強み、成長戦略に対する理解促進に向けた取り組みを推進

設立70周年特設サイトを公開

「皆と歩む」をテーマに、70年の歩みや代表インタビュー、記念動画を紹介。グループの歴史と魅力を伝える。

https://www.minato.co.jp/70th





メディアを通じた情報発信

- 「日経電子版広告特集」（2026年10月19日公開）
  当社会長インタビュー



- 「日刊工業新聞」（2026年10月28日発行）
  当社社長インタビュー記事
- YouTube 「投資WEB」（2026/10/30公開）
  当社会長の若山、社長の相澤と金融アナリストによるスペシャルトーク
  https://youtu.be/KlJBkihhOlE

※その他、70周年記念イベント、各種制作物を準備中

7. 事業概要と成長戦略

会社概要

経営理念

常に新しい技術に挑戦し、社会に価値ある製品やサービスを提供することで、お客様、株主、従業員の満足を高める企業になる

ビジョン

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

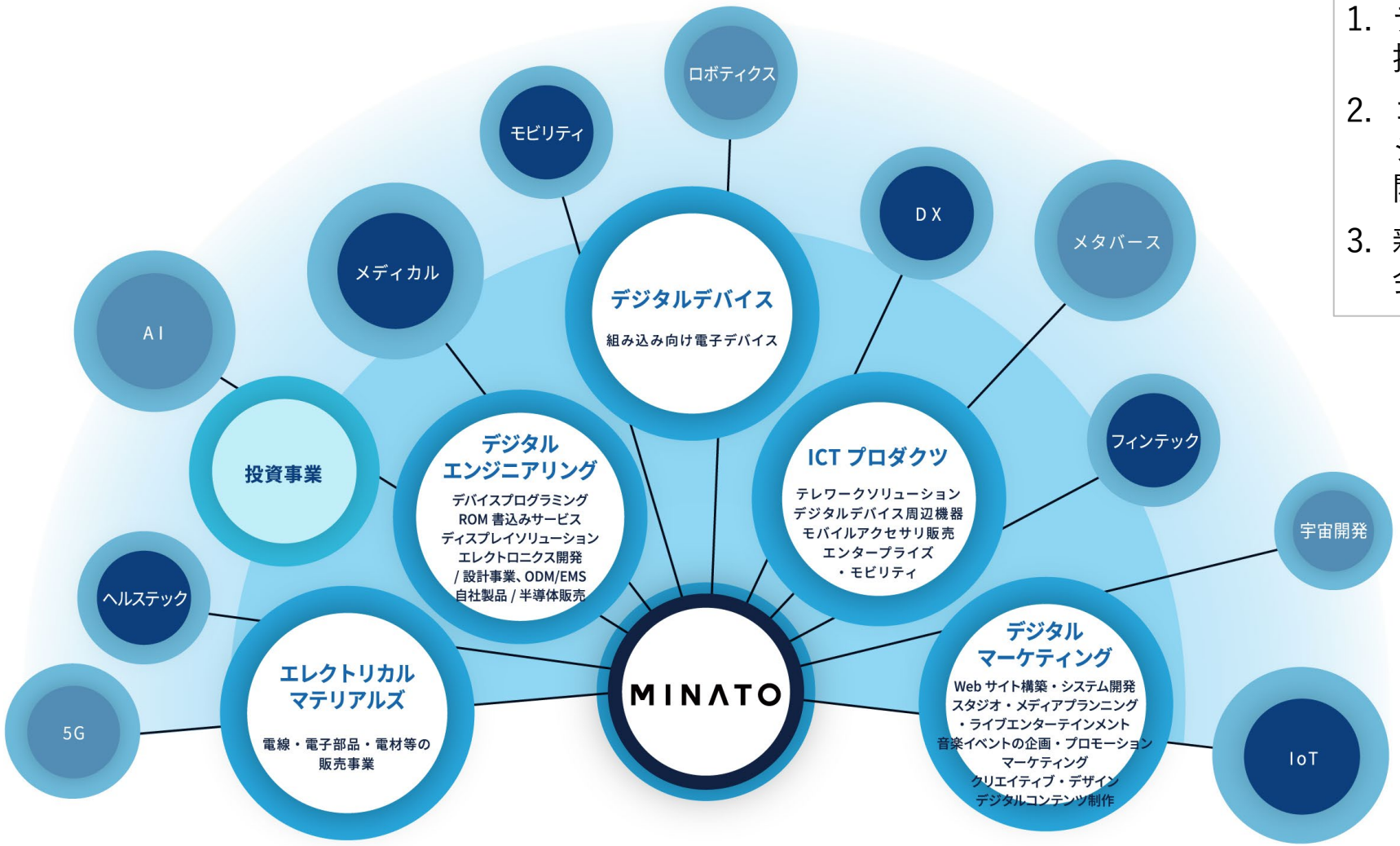
Pioneering the Future through our Digital Consortium

会社名	ミナトホールディングス株式会社 （MINATO HOLDINGS INC.）
上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場 （証券コード：6862）
所在地	東京都港区新橋４丁目21番３号 新橋東急ビル
代表者	代表取締役会長 兼 グループCEO　若山 健彦 代表取締役社長 兼 COO　相澤 均
資本金	1,086百万円（2026年３月31日現在）
設立日	1956年12月17日
事業内容	グループ会社の経営管理
グループ会社	18社（国内12社、海外６社）
グループ役職員数	約600名

© MINATO HOLDINGS INC.

ミナトグループのビジョン

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

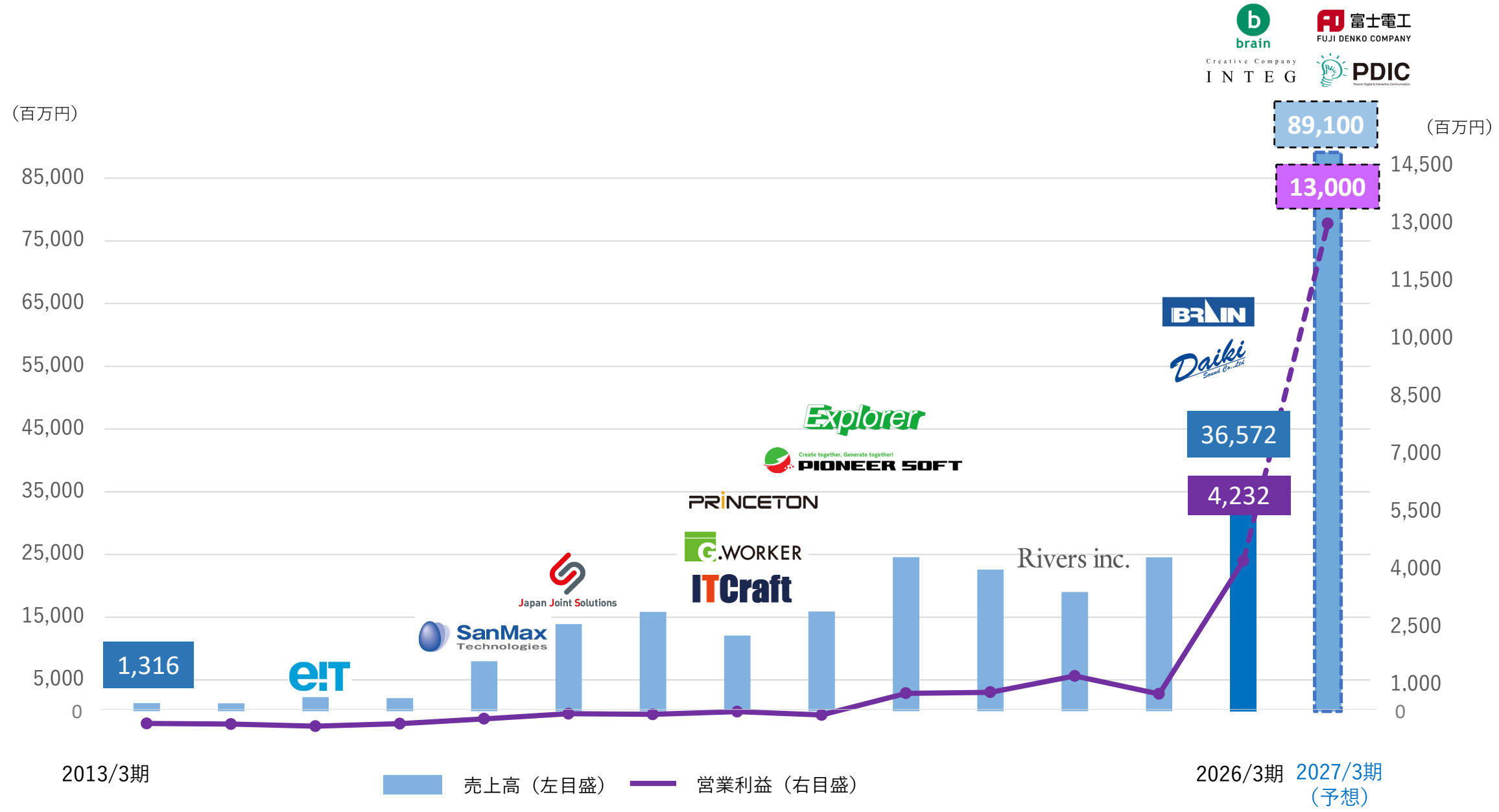


デジタルコンソーシアム（DC）構想

1. デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との連携、M&Aを実施
2. コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦
3. 新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造

© MINATO HOLDINGS INC.

DC構想実現に向けたグループの拡大と業績の推移

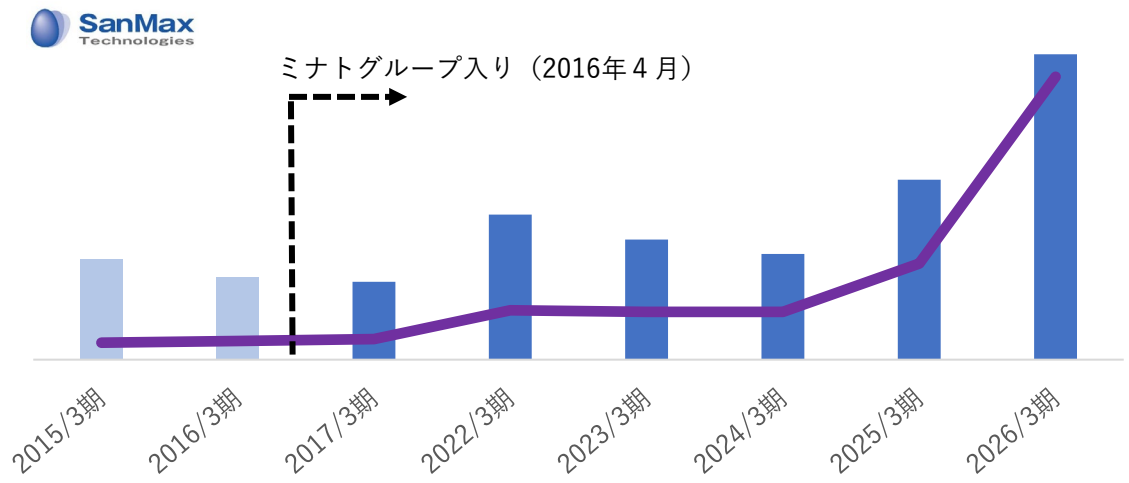


© MINATO HOLDINGS INC.

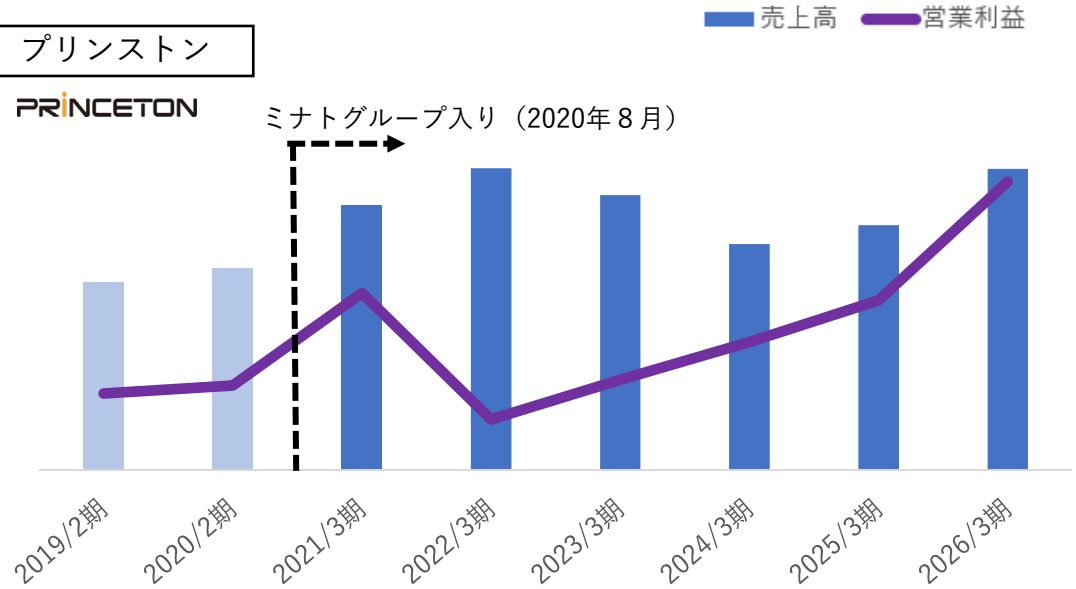
グループ入り後に各事業会社の営業利益が飛躍的に拡大

MINATO

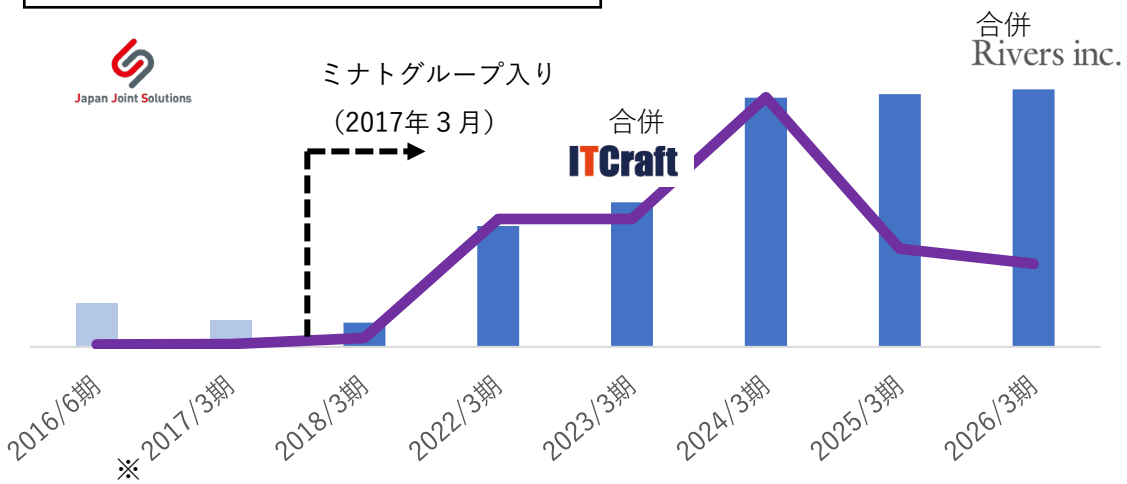
サンマックス・テクノロジーズ



プリンストン

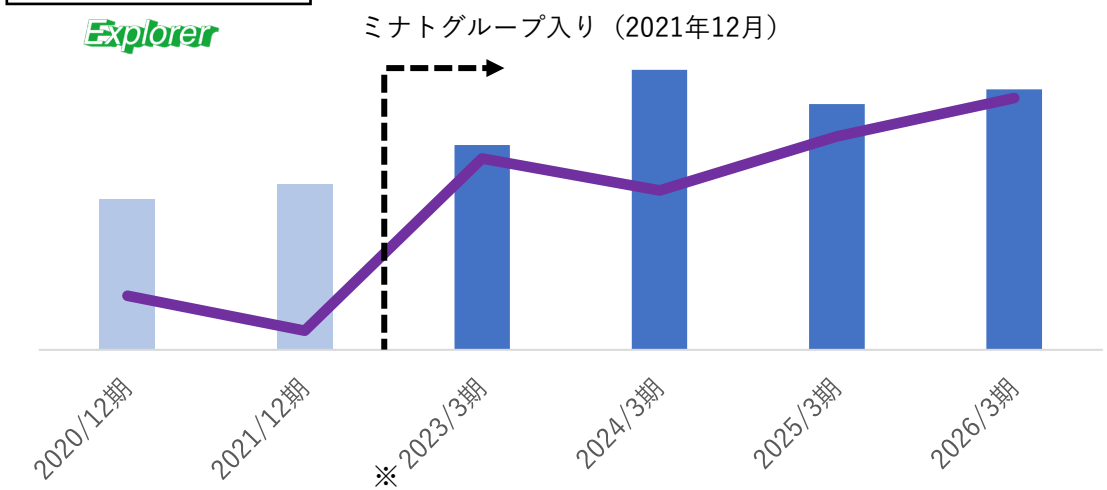


日本ジョイントソリューションズ



※ 2016年７月～2017年３月の９カ月間の業績を12カ月換算

エクスプローラ



※ 2022年１月～2023年３月の15カ月間の業績を12カ月換算

© MINATO HOLDINGS INC.

8. Appendix: 中期経営計画とグループ各社の事業内容

「中期経営計画2027」の達成を目指し、各種取り組みを推進



https://www.minato.co.jp/document_files/ir/medium-term_business_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf

© MINATO HOLDINGS INC.

「中期経営計画2027」の概要①

MINATO

３つの重点テーマに基づき、デジタルコンソーシアム構想の実現を目指す

① 既存事業領域の更なる拡大
デジタル技術の進化を取り入れたさらなる事業拡大

② 新規事業領域への投資（M&A/ベンチャー投資）
強みの投資力を生かした新事業によるさらなる成長力の獲得

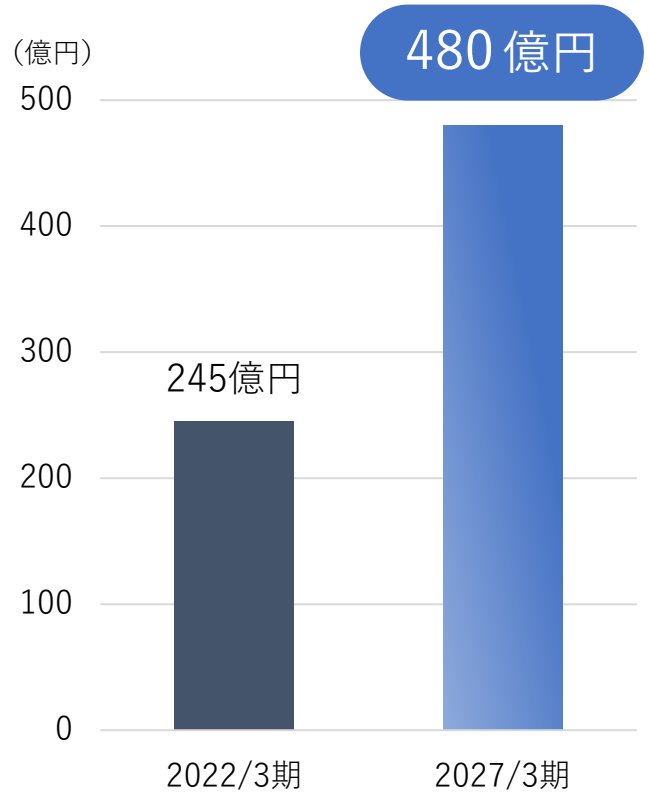
③ グローバル展開
海外拠点新設によるアジア市場へのビジネス拡大と、米国企業の新技術やビジネスモデルの取り込み

© MINATO HOLDINGS INC.

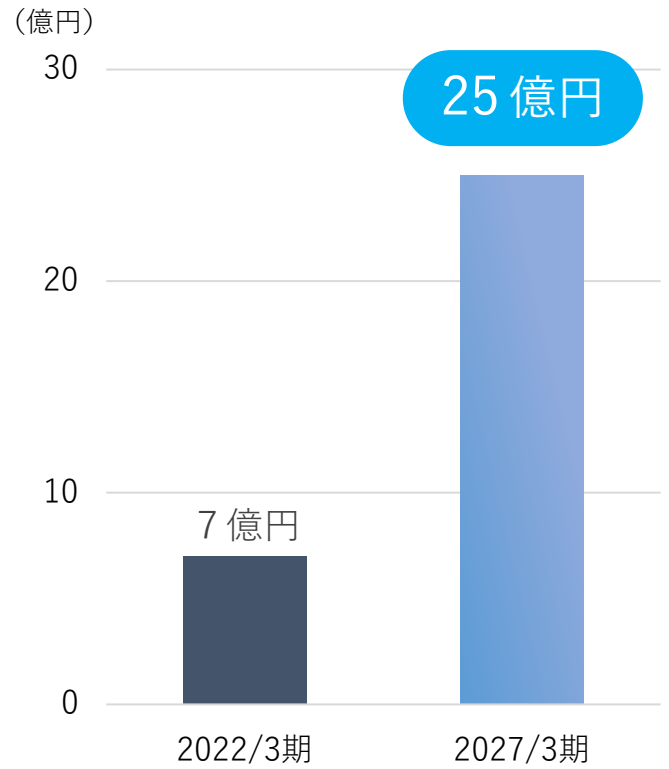
「中期経営計画2027」の概要②

数値目標については、売上高は2027年３月期第２四半期で目標に迫り、営業利益は2026年３月期に１年前倒しで達成。2027年３月期通期ではいずれも目標を大幅に上回る見込み

売上高



営業利益



ROE（%）

15%以上

自己資本比率（%）

30%以上

© MINATO HOLDINGS INC.

サステナビリティ経営について

DC構想実現による未来の社会の創造のための重要課題（マテリアリティ）を特定して取り組みを推進

- **QOL向上の実現**
  高品質デジタル商品やデジタル技術を多くの方に届けることで、人々のQOLを向上



- **地球環境の保全**
  環境に配慮したオペレーションを実施するとともに、環境負荷を低減するための技術、サービスを提供



- **人材ダイバーシティを重視した働きやすい環境**
  多様な人材が活躍でき、一人ひとりが健康に働き続けられる職場

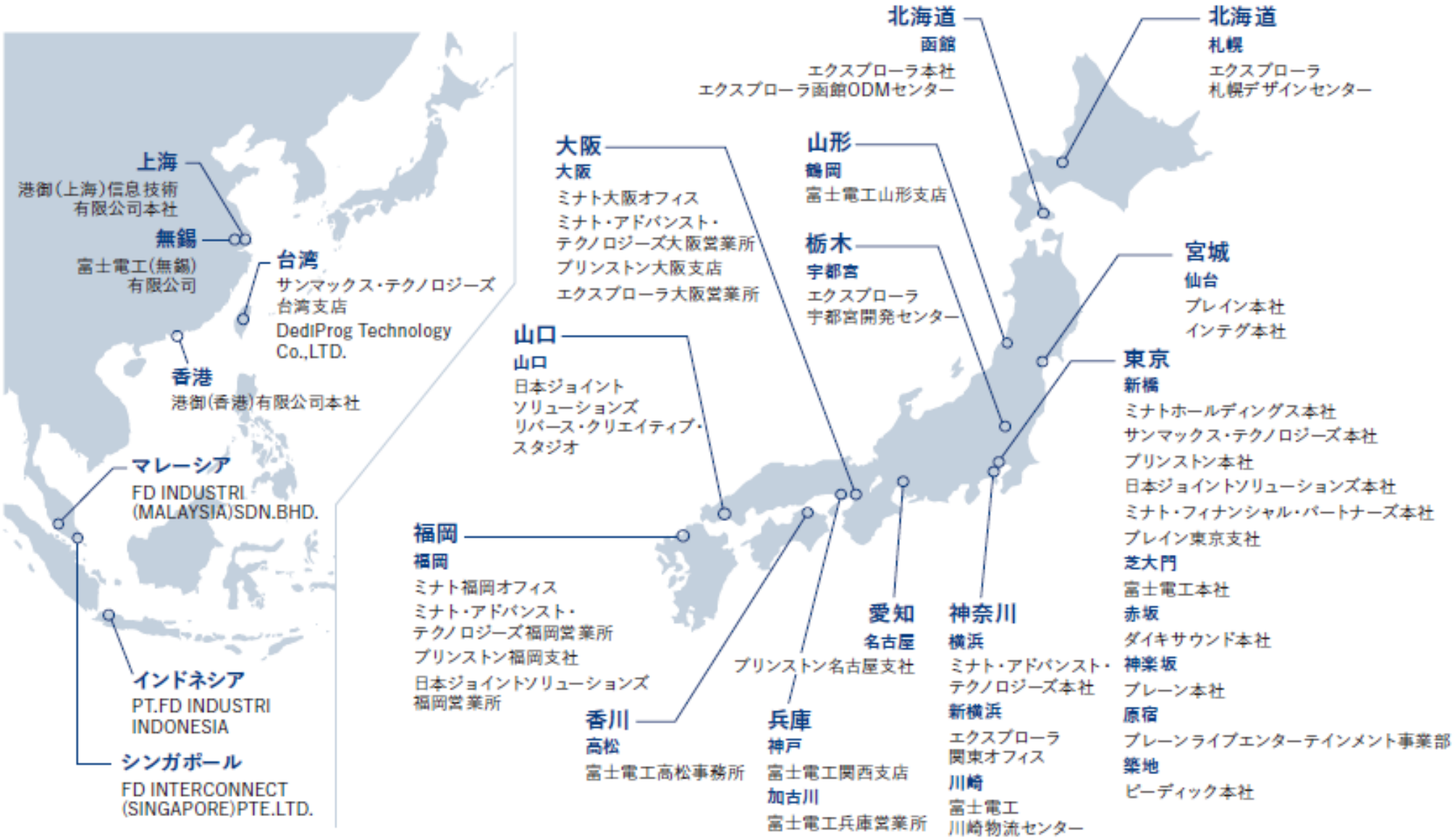


- **持続的な成長を可能にする経営基盤**
  持続的な成長を実現し、環境の変化に対応するための経営基盤、コーポレート・ガバナンス体制の強化



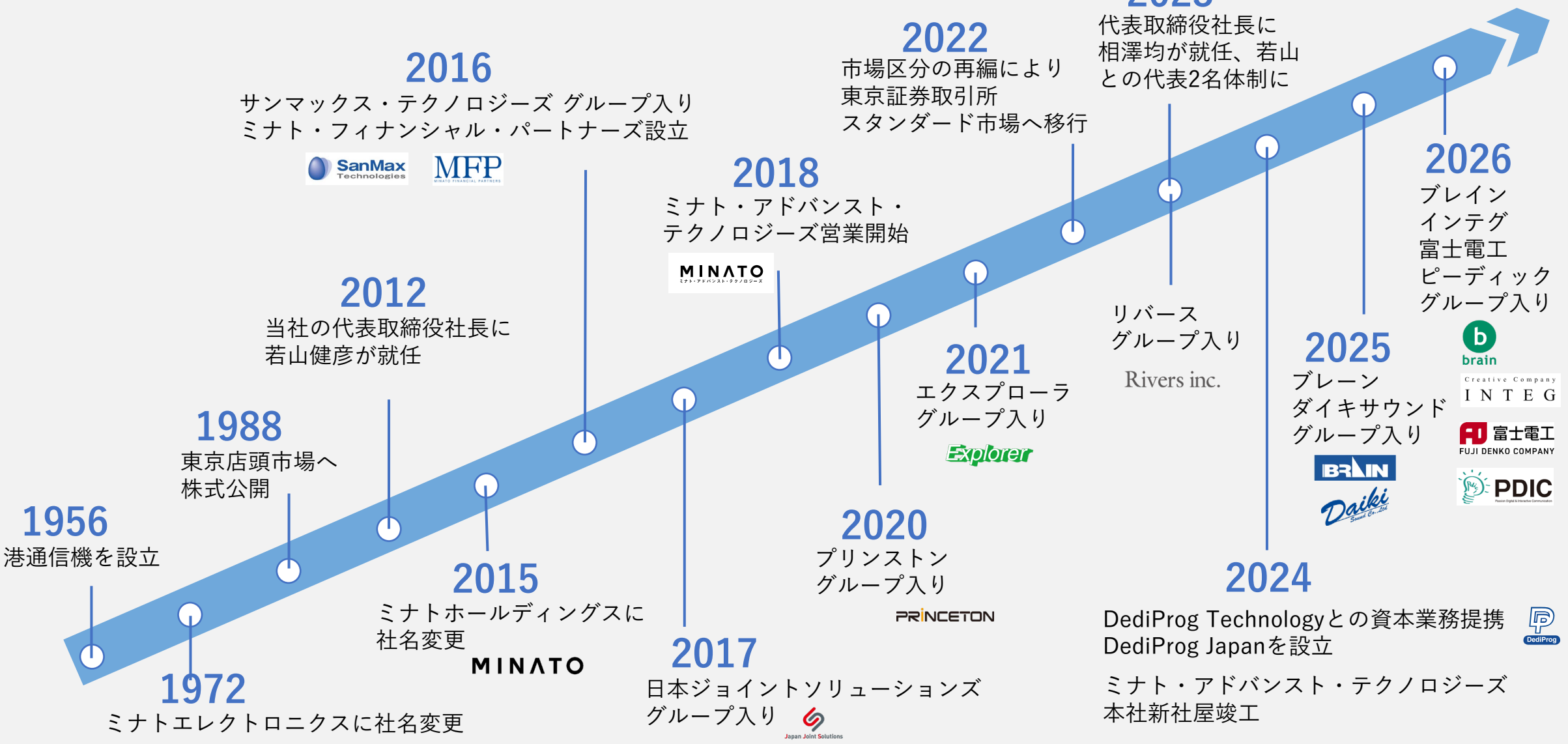
© MINATO HOLDINGS INC.

全国各地とアジアに広がるグループ拠点



© MINATO HOLDINGS INC.

沿革



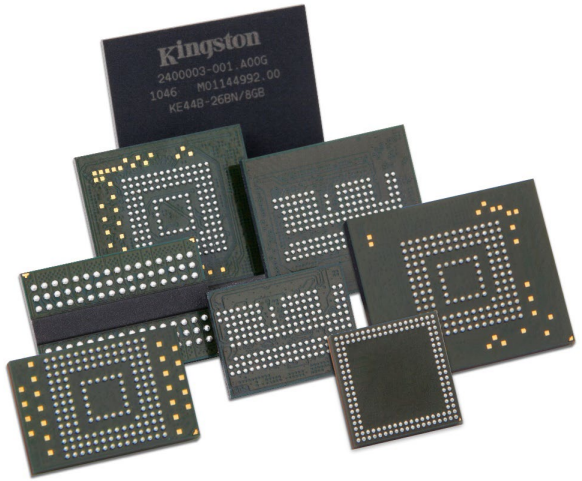
© MINATO HOLDINGS INC.

DD サンマックス・テクノロジーズ株式会社 （2016年４月グループ入り）

- サンマックス製メモリモジュールおよび各種メモリ製品は、PC、サーバー、POSレジ、MFP(多機能デジタル複合機)、ATMなど多岐にわたる用途で使用されています。
- 供給安定性と全数検査による品質コントロールに強みを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社などのお客様の品質基準と幅広いニーズに対応しています。



DIMM
(Dual Inline Memory Module)



e•MMC™ / eMCP
(Kingston製品)



Flash Media

© MINATO HOLDINGS INC.

DE ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社（2018年10月営業開始）

- 記憶装置にデータを書き込むデバイスプログラマや、自動プログラミングシステムの開発に加え、プログラムの書込みサービス（ROM書込みサービス）を展開しています。
- 新本社社屋が2024年11月に竣工。追加設備投資を実施し、ROM書込みサービスの書込み能力を従来の約3.6倍に増強しました。
- 自動販売機やATM、屋外サイネージなどで使用され35年以上の実績を誇るタッチパネルから最先端の超薄型デジタルサイネージまで、幅広く取り扱っています。



デバイスプログラマ



ROM書込みサービス



新本社社屋



デジタルサイネージ
（WiCanvas）

© MINATO HOLDINGS INC.

DE 株式会社エクスプローラ　（2021年12月グループ入り）

- ソフトウェアおよびハードウェアの仕様検討、設計等から筐体を含めた量産製造まで一貫した開発サービスを提供します。
- 産業機器／医療機器／通信機器／宇宙・防衛など、幅広い分野でODM／EMSサービスを　提供しています。コーデック製品やSDI検査製品のほか、半導体製品（開発キット）なども販売しています。



SRTプロトコル搭載
H.265/HEVC 4K/2Kコーデックシステム



4K/8K HDR対応小型信号発生器

© MINATO HOLDINGS INC.

ICT

株式会社プリンストン　（2020年８月グループ入り）

MINATO PRINCETON

- 液晶モニター、メモリ、ｅスポーツ関連製品、PCやスマホなどのデジタルデバイス周辺機器、モバイルアクセサリ等を販売し、自社ECサイト「プリンストンダイレクト」を運営しています。
- ビデオ・音声会議システムおよび関連機器のブランドを網羅し、オーダーメイドのように組み合わせて最適なソリューションを提案します。



PC / スマホ /
タブレット周辺機器



ゲーミング関連製品
（ULTRA PLUS / HyperX）



ビデオ・音声会議システム周辺機器
（Poly / Cisco / Yealink）

© MINATO HOLDINGS INC.

ICT DM

株式会社ブレイン、株式会社インテグ （2026年２月グループ入り）

MINATO

brain Creative Company INTEG

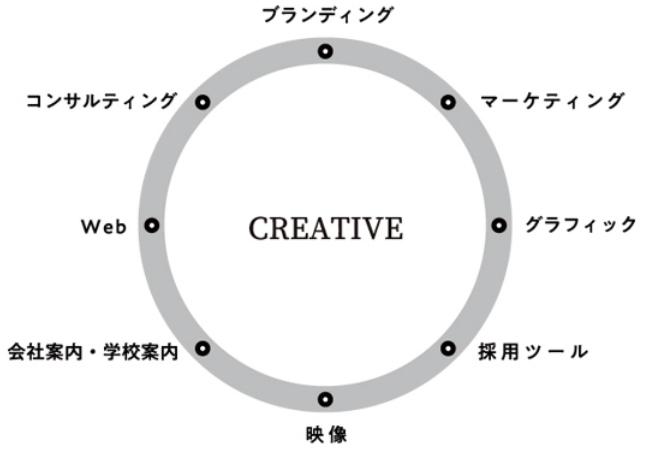
- エンタープライズ・モビリティ事業では、企業向けAndroid端末（スマホ・タブレット）、バーコードリーダ、RFIDリーダ/ライタ、産業用文字認識・物体検出固定スキャナなど、情報システム関連の国内外各メーカー製品を豊富に取り扱っています。
- マーケティング事業、クリエイティブ・デザイン事業として広告・イベント等の総合広告代理店業や各種デザイン制作を展開し、お客さまの様々な課題を解決へ導きます。



エンタープライズ・モビリティ事業



マーケティング事業



クリエイティブ・デザイン事業

© MINATO HOLDINGS INC.

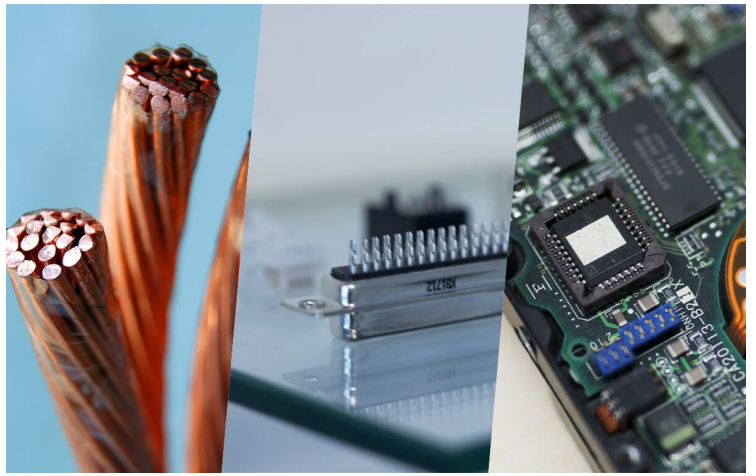
EM

富士電工株式会社　（2026年４月グループ入り）

MINATO
富士電工
FUJI DENKO COMPANY

- 電線・電子部品・電材等を取り扱う専門商社として国内外に拠点を展開し、安定的かつ迅速な製品供給を行っています。
- 創業間もない1955年より古河電気工業の特約販売店として培ってきた顧客基盤を強みに、幅広い分野への安定供給を実現しています。また、マレーシアおよびインドネシアの海外拠点では、ケーブルやハーネス、空芯コイルの製造も手がけ、販売と製造の両面から一貫した供給体制を構築しています。





© MINATO HOLDINGS INC.

DM ダイキサウンド株式会社　（2025年５月グループ入り）

- アーティストやレーベルの「パートナー」として、音楽を広めるためのデジタルプロモーションやイベント企画等を行い、音楽業界におけるトータルコンテンツサービスを提供します。
- スマホやPCからいつでもアーティストのデジタルコンテンツを楽しめる自社サービス「エムカード」の提案、グッズ制作等の商品化計画や商品政策も積極的に提案します。



イベントの企画・運営



屋外広告を活用したプロモーション



自社サービス【エムカード】

© MINATO HOLDINGS INC.

DM 株式会社ブレーン　（2025年５月グループ入り）

- 商品やサービスのプロモーション動画・ビデオ制作や、映像編集、音響、CGやコピー、データ変換等あらゆるニーズに対応するクリエイティブスタジオを運営しています。
- 著名アーティストが多数出演するミュージックレストラン「ラドンナ原宿」を運営しています。



スタジオ



編集室



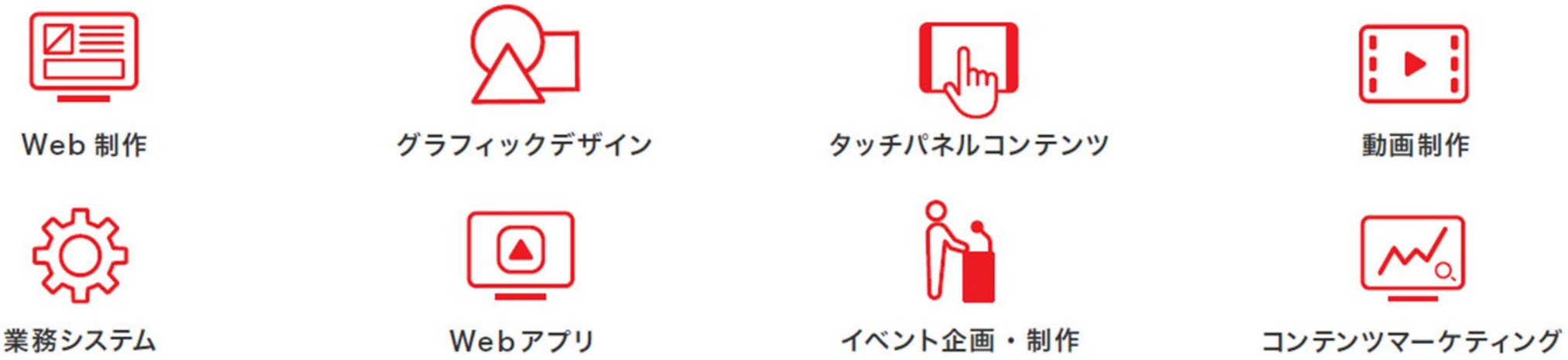
ラドンナ原宿

© MINATO HOLDINGS INC.

DM 日本ジョイントソリューションズ株式会社 （2017年３月グループ入り）

MINATO
Japan Joint Solutions

- 多様なニーズに応える包括的なポートフォリオを提供し、ワンストップソリューションによってお客様の満足度向上と新たな可能性の創出を目指しています。
- 業務システム開発、Webサイト制作、Webプロモーション、グラフィックデザイン、動画制作やイベント運営なども手掛けています。



© MINATO HOLDINGS INC.

DM 株式会社ピーディック　（2026年４月グループ入り）

- 3DCG（ 3D Computer Graphics ）を活用し、リアルな質感表現からダイナミックな演出まで、幅広い映像表現を実現しています。
- 高度な制作技術と表現力を活かし、番組演出、CM 、イベント映像、企業向けプロモーションなど、目的に応じたクリエイティブを形にしています。





© MINATO HOLDINGS INC.

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社　（2016年12月設立）

MINATO
MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

- 有望な技術を持つデジタル関連事業を手掛ける企業、成長が見込まれるベンチャー企業などに投資。
  日米のVCファンドへの投資も行います。
- 太陽光発電所プロジェクトへの投資、不動産投資、デジタルを活用したホテル型宿泊施設への投資等、
  グループの知見・ネットワークを活かした様々な資産への投資を実施中です。



太陽光発電所



ホテル型施設への投資

Brave group
Integrity Healthcare
MW
COTAC ENERGY PARTNERS

ベンチャー投資

© MINATO HOLDINGS INC.

免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

© MINATO HOLDINGS INC.

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

ミナトホールディングス株式会社

東証スタンダード市場：6862
https://www.minato.co.jp/

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
広報IRグループまでお願いいたします
TEL : 03-5733-1710　　MAIL : mnt_ir@minato.co.jp

© MINATO HOLDINGS INC.